創刊明治卅五年三月廿七日●明治卅五年三月廿七日第三種郵便物認可●月二回（一日十五日）發行納本期日廿九日（本號に限り）
●發行所東京麹町區牛ヶ淵公園内愛國婦人會●發行兼印刷人山澤俊●編輯人竹內貞三

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治辛亥元日

女子教育の神髄

文學博士男爵　細川潤次郎

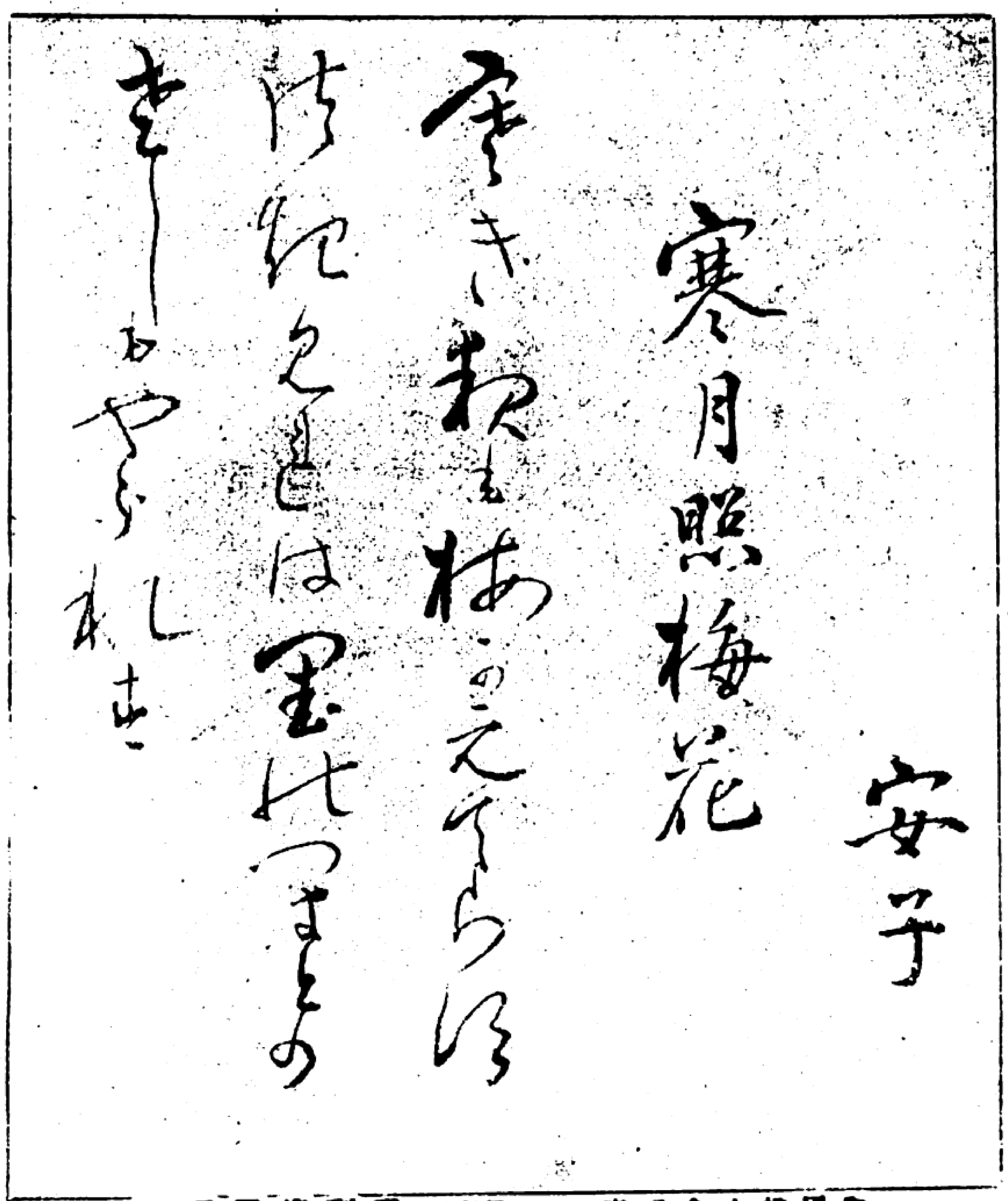
私は從來女子教育に關係した事があるが、婦人の教育に對する私の方針は、何も別に變つたことは無い。唯かの教育勅語あるのみで、獨り學校ばかりで無く、學校以外に於ても之を汎く服膺せしむるのが、私の主意である。

勿論、教育勅語の內には、男女の區別は無いのであるが、臣民の中には、男女兩性共に籠る筈であるから、此の勅語を學校で捧讀するは元より、時々之を敷衍して說き聞かせ、よく勅語の御主意の貫徹するやうにと云ふ主義で、是れまで子弟に對し種々の訓解を與へた。且つ特に婦人には、女德を養成するとか、淑女、良妻賢母を養成するとか云ふことが、女子教育の骨子となることであるから、此の意味あひを以て、更らに女子に適切なるやうに說き來つて居た。

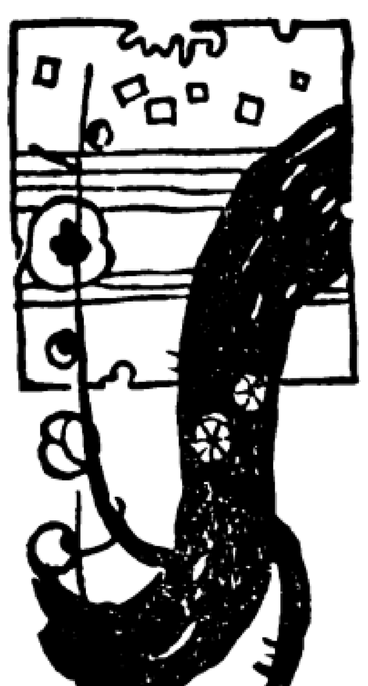
それに就ては、婦女子に緊要なる學術技藝を併せ教へると云ふことが、何處の女學校に於ても變らぬ大凡の主義であるが、扨、女德を養成するに就き、其の細目に涉つてこゝに說明することは、却々複雜であつて、一寸出來難いことであるが、先づ大體の方針如何と云ば、私の考ふる處では、從來の我國固有の美德を失はざるやうに、と云ふ一點に歸着する。若し之が、所謂野蠻の風習であつたとか、人種が劣等であつたとか云ふことならば生れ變つたやうに根本から一變する必要もあるであらうが、我國固有の人の性質は頗る順良で、完全なる發達を爲すべき性質を備へたものであると思ふ。夫故古來治亂興敗、種々の沿革を經來つたにも關はらず、皇室は萬世一系にして未だ曾て君臣の大義を取り違へた事が無く、又外人の侮を受けたことも無い、從つて近頃に至つては國家は益々發展して、遂に世界の強國となると云ふことにまで立至つたのは、畢竟固有の本性の光を放つたものだと思ふのである。

女子に於ても、古來時々の教養を受け夫れに由つて智識を增し風俗をなすと云ふやうなことは、時代に由つて變化はあるが、概して順良なる性質を有して居る漢學が傳來したる時には、漢書を學んだ婦人があり、佛書の渡來した時には、佛教を學んだ婦人があり、和學の隆盛な時代には、其の文學の訓陶を受けた婦人もあつたが、然も、貞烈の風は古今に通じて十分に發達して居る。是等は先づ女子從來の美風と稱すべきものであらう。故に此の美風を失はず、且つ失はざるのみならず、益々發達進步せしめたいと思ふのである。けれども、學術技藝のことは從來我國固有のものゝみでは足らず、西洋の學術技藝に由らねばならぬことが、種々とあるので、夫れは研究に研究を重ねて、益々智識を增し、文明の度を進め一步も遲れを取つてはならぬのである。然し、夫れが爲めに、餘りに西洋に心醉し、彼の短所までも學ぶことになつて、遂には我國固有の美風までも失ふと云ふことに立至つては不可ぬ、と憂慮する次第である。

要するに、教育には種々方法があるが固有の性質あるものに、夫の性質を尙一層練磨し、發展せしむることは、成し易いことであらうと思ふ。成る程、教育上或る場合に於ては、馬に曲藝を教へ、猿に芝居を仕込むが如き、骨の折れる、無理な事を爲ねばならぬ折もあり、是亦一個の教育には相違無いであらうが、日本の女子教育は此樣なものでない。元來美なる性質を具備して居るから、夫れに智識を增加して、益々其美點を發揮せしむることが、誠に順當なることであらうと思ふ。この順當の教育を施し、決して性質に逆つた教育を施さぬ時には、力を用ふる事尠くして、效果を收めることが多いであらうと思ふのである。



愛國婦人會理事　公爵母堂　毛利安子詠書



如何に子弟を教育すべき

(上)

男爵　高木兼寛

▲愛國即ち愛家　愛國即ち愛家である。國を愛するものは一日も子弟の教育を忽に爲ては不可ぬ。然るに、世間には往々子弟を教育するは、事を數多く教へ込むにあり、と云ふやうに誤解して居る人があり、又學校に於ても此方針で、澤山の課目を教授して居ります。其の結果は、何れの學科も重く深く兒童の頭腦に印象することが出來ず、爲めに教へる度合の強いに關せず其の效果は誠に薄いやうに感ぜられます。

然らば、如何にして教育の效果を完からしめ、兒童養成の目的を遂することが出來るかと云ふと、それは兒童には決して數多く教へずとも好い。唯教を反覆して深く兒童の頭腦に印象せしめ、又兒童が自ら悅び進んで愉快に行ふことの出來るやうな方法に依らなければならぬと思ひます。即ち教育の目的は所謂忠良なる臣民を作るにありますが、さらば如何にして忠良なる臣民となるやと云ふに、兒童が悅び進んで、自ら忠良なる臣民となるやうに教へて行くことが效果がありは爲ないか、と自信するのであります。

▲神佛の祭典を盛んにせよ　之に就ても鎭守神の祭典、其他種々の神社佛閣の祭典、或は祖先の法事などを盛んにすることが、兒童の教育上非常に緊要であると思ひます。かくすれば、兒童も人々の成すところを見て、心の內に愉快を感ずる場合が多い。そこで神や佛に詣ることは、自然兒童が喜んで致すと云ふやうになるから、何時は何神樣の祭典、何時は何處のお祭りなどゝ、兒童は其の日を豫期し指折り樂みて待つことになります。而して神や佛の前に於ては必らず一定のことを教へて、それをとなへ忘却ざるやうに心懸けしめ、指導せねばなりません。かくして教を繰り返せば兒童も最初は無意味に詣つて居るけれども、かゝる場所では斯くすべしと教へ訓された事が、遂には其の習慣となり、性となるものであります。

かくて兒童の心には、本年の祭典が濟めば又來年もと云ふやうな宿題が起り、從つて兒童の仲間にも之が談片となつて他の無益な事柄を考へる暇を多少豫防する事にもなります。

▲心を歸一せしむ　又神や佛のことに付て話をするのは、少しの害もないと同時に、一定の場所に己の心を歸せしむるの觀念を養成し、決斷力を增さしむる效果があります。精神を一に歸せしむるの性を涵養爲なければ、決斷力に乏しく、或は惑ひ、或は信じても尙斷じて行ふことの出來ないやうな腑甲斐ない事になります。(つゞく)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

慈善事業經營に就て

子爵　清浦奎吾

▲慈善事業は歐米特有のことに非ず

慈善事業といふ事は、何が新しき西洋傳來のことの如くに聞えるが、我國に於ても王朝時代の頃には、悲田院や施藥院の設備が有り、之れには、隨分手が屆いて居たやうに思はれる。即ち慈善事業といふことは、德政とか仁政とかの一端で王者の勉として最も力を致さねばならぬことになつて居たのである。其後藤原氏の權、武門の手に移り、封建の勢を成すに至り、殺伐風をなして慈善を省みざる有樣となり、之が爲めに、慈善事業の良き種子は播き付けられたるにも拘はらず、遂に殆んど蹂躪せられたのである。

明治維新となり、百政悉く擧り、慈善事業にも着手された。余が明治二三年頃豐後國日田の廣瀨淡窓先生の塾に遊學を爲して居た頃に、松方侯爵が知事として赴任せられ、間もなく、第一に養育院を設立されたる事を記憶する。日田縣には從來墮胎の風が流行し、或は生きたる兒を棄てゝ養はずと云ふやうな惡弊があつた爲めである。此後次第に、各府縣にも慈善事業が行はれたのであらう。

今や侯爵松方氏が圓滿なる幸福を得られ先頃金婚式の祝典を擧げられたる、之も佛教の因果應報、儒教の積善之家には餘慶ありとでも云ふべきものであらう。

近來慈善事業が盛となり、獨り民間の篤志者のみに非ず、政府に於ても之が爲めに力を盡し、或は補助金を交附し、或は之に從事する人々を中央に集めて講習會を開くと云ふやうな事があるが、これは誠に喜ぶべき現象と思ふのである。

▲經營の二大要件

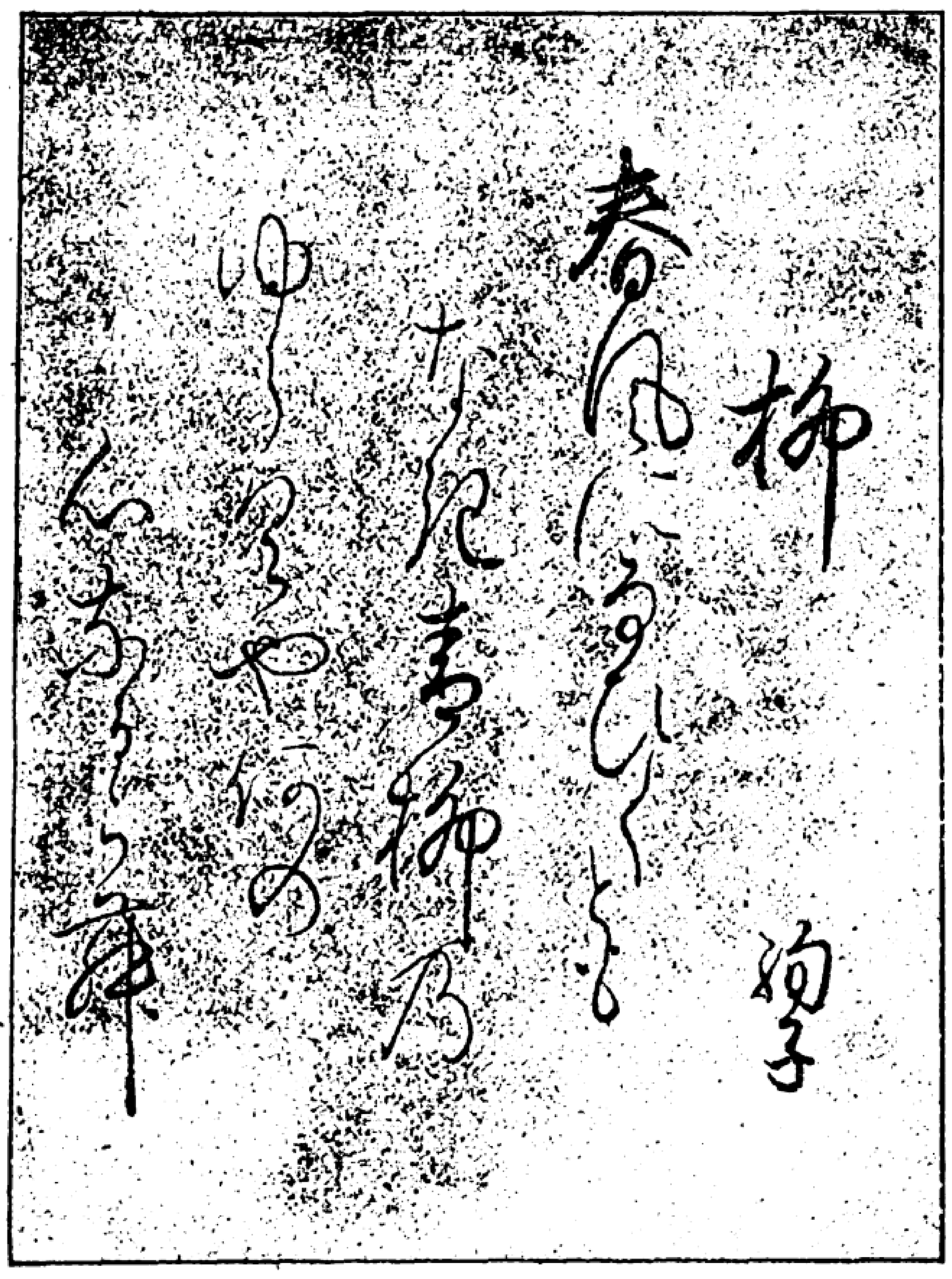
慈善事業を行ふに就ては、種々の論議もあり、又其組織の方法も種々あれど、殆んど此の事業の生命とも云ふべきものは、之を世話する者、即ち經營者、及其の資金である。如何程議論が高遠に走せ組織が巧妙に成立しても、之を運用するに適當なる人と、之を維持する資金とを得るにあらざれば、如何とも爲し得ず、必ずや人と金とを得ることが必要である。

▲何故に我國の慈善事業は發達せざるや

我國の慈善事業を歐米のものに比すれば、未だ甚だ幼稚である。何故かと云ふに、第一之に費す資金の上に於ても頗る困難の狀態に在る。勿論、政府に於ても之に對して爲し得る限りはなすであらうが、然し、何れの國にても之を單に政府の力のみに由つて爲すのでは無く、多くは民間篤志者の寄附等に由つて成立するものである。近來我國に於ても、富豪の人々が富豪たる地位に省みて、慈善事業に向つて資金を投ずることの追々に增加する傾向はあるが、未だ一般を見渡せば、慈善に心を傾け同情を寄る人が誠に尠いのである。

米國などには、公共慈善の事業に、或は遺言等を以て現資產を贈與するやうな人もある。是を祖先より受けず自己の腕に由りて造りたる資產は己れ自ら仕末をつけると云ふ主義からでもあらうが、法定の家督相續人無き場合は、多くは遺言により慈善事業に全財產を擧げて寄贈するのである。

斯く云へばとて家督相續制度を惡いとは云はぬが、我國では此の制度ある爲めに、此の如き思ひ切つた行動は殆んど稀にも見るを得ざることである。又歐米に於ては、慈善事業には婦人の



愛國婦人會理事棚橋絢子媼書

同情が最も有力なる動機となつて居る。吾日本婦人は最も此の同情心に富み、慈善の心が深いといふ事は事實であるが、日本婦人の現今の狀態としては、慈善事業に向つて大に盡力爲たい精神だけは溢れて居ても、婦人單獨の力にては經營し得ぬと云ふ狀態を免かれぬのである故に事業の經營は男子に一任し婦人は專ら資金の補充に努力する外は無いのであらう。

▲呼び聲を高くせよ

然し、近來追々慈善の呼び聲が高まるにつれて、官民何れの方面を問はず、次第に同情が集まり、慈善事業が盛大に趨くことは疑はぬ。

何事によらず社會の同情を得んとするには、なるべく大なる聲を擧げて叫ぶことが必要である。一例を擧げると、監獄費國庫支辨のことは、明治二十三年に始めて稱へ出したのであるが、當時は單に一場の冷笑を以て迎へられたるのみであつた、然るに、之れを地方負擔とするよりも、國庫支辨とするのが經濟上、及經營上甚だ利便であると云ふことが追々明になつて、遂に明治三十二年に至つて其の目的を達する事が出來たのである。

されど、唯、其の叫び聲が徒らに喇叭的では不可ぬ、誠意誠心より出づる聲、正義を一貫する叫び聲でなくてはならぬ。

慈善事業の如きは、人道の大義より論ずるも、或は社會政策上より見るも、何れの方面よりしても、實に立派なる問題、立派なる叫び聲だと信ずるのである故に慈善事業を將來に發展せしめんと欲するに就ては或は學理に由り、或は實驗に由り、慈善事業の社會に必要なる道理を含みたる叫び聲を盛んにする事が最も必要であらう。

▲經營の方針如何

然るに、世には往々慈善事業が折角起されても、或は又之が爲めに篤志家が寄附金を出しても、その結果が左程の效績を現はさぬことがある、要するに是れ其の組織の宜しきを得ざるにもよるべきが、寧ろ經營者其人を得ざるが爲めであらう。畢竟、何業と雖も經營者其人を得されば立派に成立つものではない、例ばこゝに一大會社が成立しても、經營が其宜しきを得ざる爲めに、遂に破綻して株主に大なる不利益を與へるが如きは、近來其例に乏しからざるところである、慈善事業に於ても、亦經營者其人を得ることが最も必要なる條件である、又久米氏の說の如くに、慈善を一個の學科として修めることも必要であらう、結局、今日以後の慈善事業の經營に關しては各種の方面に涉り、廣く見聞する事が必要であるから一方面より單純に爲し得べきことでは無い、一種專門の學科として之を學び、尙十分に之を實地に經驗し、而して學問と實驗とを圓滿に一致せしめて此業を經營せねばなるまい。

又一方に於ては、之を一の行政事務として、中央政府なり地方政府なり或は市町村役場なりに、局とか課とか係とかを、慈善事業の爲めに設けて、之を發達せしむることも必要であらう、かく云へば、政府萬能主義の如くにも聞えるのであるが、英國の如くに自治制の發達したる國に於ては、凡ての慈善事業は皆民間有志の手に任されてあるが、國によりては左樣は行かぬ、或は又民間有志の手に由つて行はるゝにもせよ、中央なり地方なりの役所に於て專門の局、課、係などを設けて此の慈善事業の世話を爲し、其の發達を計ることも必要であらう。

さて、世には往々慈善の爲めに慈善を成すに非ず、利己の爲めに慈善を行ふの弊もあるが、又正當なる方法を以て成立する慈善事業と慈善事業との間に一致連絡を缺くことがある、之等は何等かの方法によつて協力一致することが必要である、且つ慈善事業も、舊來よりやりきたりの方法のみによらず、勉めて歐米の新しき事柄を取調べ、而して最も效果あるやうに經營する事が緊要である。

徒らに機關のみ膨大にして、外界の面目を張るばかりでは不可ぬ、專ら實際の效績を顯著ならしむることに努力爲ねばならぬのである。(中央慈善協會總會に於ける講演筆記)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

年の始めに當りて感ずることども

三輪田高等女學校長　三輪田眞佐子

▲昔から、歷史は繰返すと申す語がありますが、實際左樣で、社會の風俗なり、習慣なり、思想なりは、屢同一事を繰り返す傾向があつて、今も尙、夫れが眼前に見えて居るやうに存じます。例之、忠孝と云ふ觀念は、從來薄らぎつゝありましたが此の觀念が無くてはならぬと云ふことを、一般の人が自覺して、特に此の心を深めることに注意する樣になりました。之は誠に悦ぶべき風潮であります。

▲次に、世の文明を進むるには、個人主義が扱つて力あることは、眞實でありますが、個人主義も其極に達すと大に弊害があるので、歐米でも、現今は此弊害を自覺し、今更ら家族主義を稱へ初めました。日本に於ても、未だ家族主義が全然地を掃つたと云ふのではないので、此の主義を發揮する事が必要であります。

▲又、雛祭の如きも、眞の淑女を理想としたものである、實に麗はしい習慣であると云ふので、今更ら昔戀しい爲めに、特に其美を感じ、次第に復活の風潮が見えまするし、七夕の如きも、亦宗教上からは兎に角、兒童の爲めに有益であると云ふので、再び此儀式を起さんとする人が往々見えるやうであります。

愛國婦人會理事　三輪田眞佐子

▲以上と同じ勢で、新年に對する感想も昨今は變せんとしつゝあるので、例ば、近年に至つて、床飾は如何やうにするとか、馳走の材料には如何やうの物を用ゐるとか、實際生活上の問題が注意され研究されることゝなりました。此の如きことは、先頃までは、誠に輕く見られて居たのですが、今はかく注意することゝなりましたのは、矢張り、昔戀しいやうに感じて居る人の尠くない爲めでありませう。

▲西洋ではクリスマスの祭りがあつて老幼一般に悦び祝ふことが出來るので、夫れより一週間後の正月がはづみませんが、我國では、之の祭りは一般の風俗では無く、正月が國民一般の樂み待つところであります。この樂しき年の來るのを指折り待つは、自然の人情で從つて正月の樂は、自然の勢であります。然らば、如何なる態度によつて正月を見るかと申すと、矢張、我國人の自然の感想、自然の風潮に任せ、惡弊は矯め、古來の美しき例は破壞する必要も無く、益々其の美の發展を圖らねばなりません。例之、無意味に謹賀新年の端書を書くとか、或は餘り關係なき所までも無暗に廻禮を爲すのは、虚禮虚色に流るゝものである。だが眞に恩義を被り、眞に無沙汰を爲したる所には、年末年頭の禮を忘れぬことが必要であります。

▲又、近來は昔と違ひ、交際の範圍が擴まり、事實上廻禮し盡す事が出來ぬ爲めに、婦人などの團體が、一堂に會して名刺の交換をするのは、最も簡短で、面白く、餘程時代の風潮に適つた趣味あることだと思ひます。

▲新年の馳走も、德川時代には材料が一定されて、四民平等に祝つたのでありますが、此風が次第に衰へて參りました。然し、新年には特に馳走すると云ふやうな風俗が、將來造られる事があつたならば、其家庭は不幸であるかも知れませぬ。何故かと云へば、新年には一家打ち揃つて樂しく遊び暮すのが得策であるのに、斯うすれば、其の家庭の主婦は、新年早々襷かけで働かねばならぬことゝなり、主婦のみならず一家の爲めに誠に不幸であります。

▲新年早々奢侈、贅澤若しくは煩瑣的の交際を始めるのも面白くありません。之に就ても、田作か數の子の如き單純なる德川時代の料理は、殺風景の如くにも見えますが質素を旨とし、平和の家風を起すには、當を得て居ると存じます。又其家の貧富によつて馳走を異にすれば國民的の風紀とはなりませぬ。貴賤共に祝ふのが國民的であります、然るに、近來個々別々の材料によつて馳走することを考へるのは實は惡しき風潮であります。

▲要するに、新年に對し、古來の習慣にも麗はしき點があり、又今日の風潮に合はぬものもあつて、却て新舊の故を以て其一を採ることは出來ません、何れが時勢に適合するや、何れが國民の幸福であるやを見て、其の宜しきに從はねばなりません。

愛國婦人會評議員　伯爵夫人小笠原貞子

歐米慈善界の大勢（下）

中央慈善協會幹事長　久米金彌

▲慈善事業と經濟思想の合體　今より四百年前エリサベス女王治下の英國に於て、貧民救濟制度が出來ました。此の制度は無論有効なるものでありましたが、効果よりも寧ろ弊害が續出し、爲めに或は國家を危ふせぬとも限られぬと云ふやうな有樣になりましたので、速に之を改正せねばならぬと云ふ叫ひ聲が高まつて參りました。而して此の聲は博愛家の口より出たのではなくて、寧ろ經濟學者が眞先に說へ出したのであります。此時、舊來思想の博愛家、慈善家は經濟學者を涙なきもの、情なきものとして大に攻擊し、百方論爭爲ましたが、其の結果は遂に經濟學者の勝利に歸しました。結局、慈善事業は經濟思想と合體して始めて完全に遂行さるべきものである、と云ふ實例が出來たのであります。又ワットが蒸氣機關を發明し、工業界に一新現象を起した結果として、工場に於ける幼少者の使役は非常に惡い、又女子を使用する事も甚だ有害であると云ふ說が起つたのでありますが、その說を眞先に說へ出した者は、前例と反對に博愛家でありました。然るに此の場合に於て經濟家は如何なる態度を執つたかと云ふと、前に博愛家が反對したる如く、博愛家に對して大反對を試みたのであります而して其最後の斷案は博愛家の勝利に歸しました。

此二ツの著しき實例の期間中に於て、經濟學者と博愛家とは頻りに反目し、博愛家は經濟學者を仁も無く、情も無く、涙も無き沒情漢だと攻擊し、經濟學者は博愛家を人道の押賣り者と叫び、互に罵詈讒誣爲たのであるが、最後に於ては博愛家も經濟學者も共に兩立する事が出來、博愛は經濟を基礎とし、經濟は博愛を基礎と爲なければならぬと云ふ事實が證明せられたのであります。故に、獨り英國に止まらず、何れの國に在りても、慈善事業は單純に成立するものでなく、社會萬般の事柄、總ての條件を考へて後始めて出來るものであります。之れ今昔の慈善思想の變化でありますが、かく慈善思想の內容が變化した以上、之を經營管理する人は、亦此の考を有せねばならぬ事は明白でありませう。

以上述べた處は、八年以前私の眼に寫りました歐米界慈善の大勢でありますが亦是れ慈善界に於ける世界の大勢であると云ふ事が出來ます。從つて今日我國に於ける慈善事業の現狀と、歐米に於ける大勢とを比較研究すれば、今後我國に於て慈善事業に從事するものが如何なる思想を有せねばならぬと云ふ事が推定せられるのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

歐米漫遊中の感想

男爵夫人　三井苞子

◎私は、去る四月の二十一日に東京を出發して、渡歐の途につきましたが、往きには、門司から大連へ渡りまして、シベリヤ線で露西亞の舊都のモスコーへ參り、夫れからペーテルヅルグ、獨逸、墺太利、伊太利を經て佛蘭西に參り、英國へ渡り英國からは又ブラスセル、和蘭、瑞西などを見物致して、更に英國から大西洋を渡つて米國へ行き、歸りには船路をとりまして、去る十一月十八日に横濱へ約七ケ月目に歸國致しました。

何に致せ、初めて歐米に參つたことではありまするし、殊には忙しい旅路で御座りましたから、折角お訪問を受けましても、是れと申して纏まつたお話は致し兼ねまするが、先づ私の眼に映りましたところを、見たまゝ感じたまゝにお話致しませう。

◎英國では、特にケンブリッチの女子大學や慈善病院などを參觀致しましたが、御承知の通りケンブリッチ大學は世界でも大變名高い學校のことではありまするし、敎場其他總て完備して居りまして、實に結構だと存じました。參校の當時は生憎暑中休暇中でありました故、只其生徒の寄宿舍を見ましたが、中々完備して居りまして、申さば學生には少し贅澤すぎてはをらぬかとかんじました。慈善病院では患者の取扱方などを見ましたが醫員看護婦等が誠に親切にして萬般の設備の整頓致して居るのにはつくづく感心致しました。

英國の婦人は一般に温淑で沈着て、極眞面目で、殊に家政上の注意の如き、よく行き届いて居るやうに感じました。

◎ともすれば、日本の人には、往々西洋の婦人は臺所のことなどには少しも關はず、始終遊んでばかり居るやうに誤解爲て居るかたがありますが、眞實は歐米で中流以上の生活を致して居る家庭の主婦でも、午前は自分親から外に出て種々買物を致し、午後には下婢等を指揮爲て買物の處分をし、或は來客の接待を致すなどで、却々多忙で御座りまして、決して何事も爲ずに遊び暮して居るやうなことは御座りません。

◎佛蘭西の都の巴里は、申すまでも無く大變に華美な町で、旅客の目を引くことも多いので御座いますが、眞の佛蘭西人は婦人にしても決して思つたやうに贅澤でも華美でもありませず、却つて質素のやうに存じました。でも一般に衣服の着方などが上手で、其上に色合の配合など能く注意が行き届いて居りますので、夫れで華美やかに見えるのではないかと存じます。

愛國婦人會監事　三井苞子

◎露西亞では僅か一週間許りの滯在に過ぎませんので、別に之れぞと申して御話し致すこともありません。唯々『寂しい國だ』と云ふやうな感想が起りました。

獨逸に參りますと、流石に見るもの聞くものの接するものごとに生々と致して居りまして、何となく活氣が有るやうに思はれました。獨逸では男尊女卑の風が盛んで婦人は一般に能く男子の命令に服從し能く働いて、專心家計のことや子供の養育に力を盡して居りますが、こゝらは我國の婦人と近似は居りますまいか。

◎米國は、新興國だけに、婦人達も餘程活潑で御座ります。然し、私はボストン市の或る女學校を見ましたが、生徒達は比較的に質朴な風姿を致して居りました。歐米では御承知の通り電氣事業が大變盛んで御座りますが、特に米國ではこの事業が餘程發達進歩致して居りまして、事々物々巧に電氣が應用されて居ます、これも私が歐米で注目ましたことの一つで御座います。

◎市街の清潔なのは、獨逸が一番のやうに見ました。英國は保守の國で、商店でも古きを誇ると云ふ習慣がありますので、家屋も比較的に綺麗ではありませんで、家屋に趣味の多いのは米國の町で御座いまして、まつちをつみあげたやうな高い家ではニユーヨークに最近新築された四十二階の保險會社があります。急激に發展致した新開國だけに、そんな高い……世界一の高い家屋があるかと見れば、一方には又、隨分低い屋根も見えると云ふやうに、米國の町には變化が多いので、從つて見た眼には趣味が有るやうに思はれました。

◎二度も三度も行つて見たいと存じましたのは瑞西で御座ります。こゝは歐洲の湯治場と云はれる位で、山と湖水と、湖水と山と相對して風光の明媚なことは何とも形容の致しやうもない程で御座ります、それに一般に住民も親切で、商人とても暴利を貪るやうなことはありませず誠に居心地の宜しいところで御座ります。

◎極最新の流行と致しまして歐米の婦人服に、日本の衣服の形が交つて居ります。上着の胸のところが、日本服の半襟のやうな形になつて居りまするし、それから、今まではボタンを左に留めたので御座りますが、近頃は日本式に右に留めるのが流行致します。スカード（袴）も大變に狹い短いのが流行ます。それでこんな服を着けました婦人の歩き姿を遠くから見ますと、全然日本服の裾捌きのやうに見えます。是れは極最近の流行で御座いますが、佛蘭西では申すまでもなく、米國にも此のかたが餘程流行致して居ります。

色合は紺のかつたお納戸が流行致すやうに見受けました。

◎帽子は、一時大變に大きなのが流行致しましたが、今は之と反對に極小さい、虚無僧の帽子見たやうな形で、眉毛までも隱れるやうな深い帽子が最新の流行で御座ります。

◎歸航の途中、布哇のホノル、港に立寄りました折に、日本の練習艦隊の淺間と笠置に出遇ひましたが、かゝる土地で、而も二隻の日本軍艦に邂逅致したことではありまするし、何となう嬉しくなつかしく別るゝ折りには艦隊から私共の爲めに種々の音樂を奏して慰めて被下いまして互に健康と安全を祝しあつて、甲板上で聲の嗄れる程、手の疲れ切る程に、叫んだり、ハンカチーフを振つたり致して別離を惜みました。浪路遙に分け行く船の、姿も見えず、煙も判かずなつた後で思はずホロリと致しました。

●豫告

次號には、

▲子弟は如何に敎養すべき（下）　男爵　高木兼寛

▲私はこんな心得で本年を迎へました　棚橋絢子

▲大眞面目　嘉悦孝子

▲伯林の正月　山崎榮子

其他有益にして興味ある讀物を澤山に掲載します。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●獨逸國皇后陛下の御美德

山脇高等女學校長　山脇房子

獨逸國皇帝陛下は、曾つてその皇后陛下の御仁德深く、最も優れたる女性であらせらるゝを嘆賞して、

余は獨逸國の女子が、皆皇后の例に傚ひて、教會、兒女及庖厨に力を盡さんことを望む。

と宣ひ、或は

我獨逸人として、最も優れたる態度と人格とを有する、珠の如き皇后は、常に余の傍りに在りて輝き、余をして總ての勞苦を忘れしめ、困難を感せざらしむ。

愛國婦人會事業參事會員山脇房子

と、賞嘆あらせられたることを聞きまして、深くアウグスト、ビクトリヤ陛下を敬慕致し、從來少しく陛下の御事蹟に就て調べました結果、これを知ることが稍審なると同時に、彌益尊敬の念を高めました、私はこゝに其の御事蹟の一片を御紹介致しませう。

獨逸國皇后陛下は、シュレスウイグ、ホルスタイン（獨逸北方の一邦）公の御女で、御名をアウグスト、ビクトリアと申し、今から約三十年前、當時皇太孫で在らせられた、今のウイルヘルム二世と御婚姻あり、二十四年以前に皇后の位に上り、當年五十三歳にあらせられ、六皇子一皇女の母上にましまして、頗る壯健に在らせられます。

陛下は、常に皇帝陛下の背後にあつて皇帝を補佐し、國家の安寧、人民の幸福を圖り、公共慈善の事業に力め、且つ皇子女の教育に力を御盡し遊ばされます。

御承知の如く、現今歐米では、社會政策が追々盛んとなり、各國政府は夫れが爲め少からず心を痛めて居りますが、陛下も亦此點に深く御注意遊ばされ、之を豫防し、社會の安穩を保つには、博愛慈善の事業を盛大ならしめ、貧民を救助し且つ國民の寺院に對する歸依の心を深からしむるに有りと思召して、或は勞働者の浪費を省き其の家庭の平和を保たしめんと、種々なる方法が設けられてありますが、其一つを擧げますれば、何處も同じ勞働者が終日働いて、日暮少しばかりの金子を懷中に家路を急ぐ途すがら、疲れと寒さに堪へやらで、一寸一杯を傾け、今少しと思ふ間に、不知不識懷中無一物となり、家に妻子の饑を忍んで待ち居るをも打忘るゝものあるを救はんとの思召より、所々にコーヒー店を設けて、至極廉價に、僅か五錢たらずで熱いコーヒーとパンとを與へ、以て寒さと疲れを癒さしめるやうに仕向けてあります。（このコーヒー店は持ち運びに便利な爲めに車の付いた屋臺店の樣に出來て二三人の婦人が率いたり賣子になつたりして居るさうです。これらの費用がどうしてかく廉價に上るかと申しますと、獨りこの費用のみならずすべて慈善事業の資金の多くは陛下の御手元から出て團體或は私人の名に由つて施されるさうであります。）或は寺院の爲めに種々の御力添へを遊ばしますが、其れが爲めにか、獨逸國にては、比較的に社會主義者の跋扈が尠いと云ふことで御座ります。

獨逸皇家の御一族前列向つて左より二番目の御婦人が皇后陛下にておはす

加之、陛下は又内に在つては、皇帝の御一身上のことに深く御注意遊ばされますため『獨逸帝は歐洲の帝王中最も服裝のよく整ひたる君なり』と賞讃され玉ふと拜承して居ります。又陛下は皇子女の御教育にも深く御注意遊ばされます、曾つて皇太子が『人間は皆罪人なり』との師傅の言に『父君は或は然らん、母上は決して然ることなし』と申されたと云ふ一事に由つても、陛下が慈母として、如何に皇子女の敬愛を受け玉ふかゞ明白であります。

以上は、獨逸國皇后陛下の御仁德の眞の一端を述べたに過ぎませんが、後日折を見て詳細の御話を致すとして、今日は唯最後に陛下の麗はしき御行動として世に現はれて居る一二の逸話を擧げて此話を終ること致します。

●オエイン、ハウス●●●●　に一船長の妻あり、十餘年以來病んで病褥を離るゝことを得ざりしが生ある間に尚一度皇后を見て瞑目し度しとの事を年來の希望となしけるに偶ま皇后の「ウエスト、ファーレン」に行幸の事ありて「オエイン、ハウス」にも光來あるべき記事を讀み直に筆を把りて陛下が住家の前を通御の際には仰ぎ願はくば鳳車に徐行を命ぜられたし然らば陛下を拜するの榮を得んとの旨を認め一封の歎願書となして差出だせるに固より返翰に接すべき筈もなく妻は萬一を期したる歎願の容れられざるべきを思ひ最早全く斷念し居りたり、然るに或日の事忽ち二人の宮女其住家に來りて陛下は甚だ多忙に渡らせらるれば親しく御訪問相成り難し依て御身を御前に召さるとの旨を傳へければ其婦人は且つ驚き且つ悅び頓に語も無かりしがやかて、身は病褥にありて一歩も室外へ出る能はず此千載一遇の光榮に浴し難きは終生の遺憾なりと答へけるに二人の宮女は陛下は定めし殘念に思召さるべしとの一語を殘して辭し去れり、然るに翌日圖らずも皇后が親しく其茅屋に臨まれ慈愛に餘れる令旨を賜ひ懇ろに病を慰められ且つ辭し去らるゝに臨み其婦人の額に尊き接吻を與へられしがその感激は如何なりけん。

●或る時皇后の●●●●　ポツツダム附近のホルニム村を散策せられし際一少年の杖に縋りて街路を歩み行く樣の痛はしきを目擊せられ傍近く進まれて病氣の原因容體より家族の生活狀態に至るまで一々聽き取られしが次の水曜日に當り皇后の侍醫なる人一人少年の家に來りて其病氣を診斷し治療の方法につき深き注意を與へて去れり。皇后のポツツダムの市街を去りて首都に還啓せらるゝや其足跡は恰も天女の足跡に均しく歡喜と感謝とを以て追從せられき。

●伯林グロガウエル街●●●●●●　の一角に正直に日を送る指物師あり、七人の子を有せしが前に其三人を失ひ今又圖りなくも更に三ツ子の生るゝを見るに至り曾て一家の繁榮を悅び合ひしは忽ち一朝の夢と化し今は子等を敎養する費用にも事缺ければ如何にせんと困じ居れるに何處よりともなく一個の小包來りて麻布其他必要入用の品々を贈り越せり其差出人の誰なるやは知るに由なく或は彼の侯爵にあらずやなど談合せるに事の起りを知悉せる看護婦あり、开は必らず皇后の侍從ならんと告げければ直に一封の禮狀を認めて大特志家の許へ發送せり、然るに一日クロガウエル街の一角に停まれる王者の馬車あり中より現はれたるは二人の貴女と一人の貴紳にして此等の貴人はやがて角の家に入り四階の階段を昇りて指物師の許を音信れ貴女は先づ口を開きて御身の子供等の事を知らんとて來れりと云ふ續て貴女と指物師との間に如何なる談話の取り換はされたるか开は讀者の想像に一任すべし、貴女が此家の多幸なる母に暇を告げ尚其手に若干の施與を惠まれし時貴女に隨從せる侍女は語を挿みて御身は此御方を誰樣と思ふやと問ひけるに母は少焉はなじろみてやがて微笑みつゝ恐らく皇后陛下ならんと察し奉る何とも御禮の申上げ樣なしと答へて感涙に咽びたり、皇后は懇ろに會釋され從者を隨へて徐に四階を下り去られけり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

年末に於ける私の悔と年頭に於ける私の覺悟

鳩山春子

光陰の過ぐるは矢よりも速しと申しますが、一年位暮すのは、眞に夢のやうで御座ります。私は、毎年歳の暮になりますと、過去一ヶ年のことを省みて、自分の德の進み樣が足りないことや、學問の進歩の不足なことなどを憂ひ、年が改りましたらば、より多く學ばう、より多く修めやうと心ばかりには覺悟を定めますが、一家の主婦となつては、内外の雜務に追はれて、餘裕の時間を得ることが餘程難かしく、又も歳の暮に迫つては、相變らず後悔するので御座ります。

若し人間が自分自身の性格に滿足を感じ更に向上進歩を心掛けぬ時には、其人は既に世に遲れたる不幸な人であると思ひます。論語にも、

子曰く「十室の邑、忠信丘が如き者有らん、丘の學を好むに如かざるなり」

と、これは御承知の如く小さき邑にも、生れながら忠信孔子程の人もあらむが、孔子が修養を好まるゝ程修養する人は無いと歎せられたので、即ち千里の差も一歩より始まる事を申された次第で、向上すると退歩するとは遂に非常の差を生ずる事の意味を以て居りまして、餘程面白く思ひます。私は此語を殊に愛して切に修養の如何に大切なるかを忘れぬ樣にいたして居ましても、進歩の遲々たるに自ら愛想がつきる事もありますが

愛國婦人會評議員
鳩山春子

孔子の云はれた次の句に、

子曰く「德の修らざる、學の講せざる、義を聞き徙る能はざる、不善改むる能はざる、是れ吾が憂なり」

と、あるを讀みまして、自ら慰め、自ら勵まし、自暴自棄に陷らぬ樣に致して居ります。無論謙遜の意味もありませうが、世に聖人と稱されたる孔子さへも、斯の如き憂がありますから、まして私等の如き平凡なる人間が年々に悔悟の情を起しますのは、當然のことかとも存じます。

けれども一家の主婦となりましては、學を習ひ、德を修むべき時間の餘裕を造ることは、大變に困難なることでありますが、通常から夫れを心に掛けて、假令ば一日に終るべき仕事は成可半日に仕上げ、半日の仕事は三四時間の間に成就すると云ふやうに手廻しを致したなれば、時間の餘裕の生じないことは無いと思ひます。

同時に、心の中に考へ、或は唯之を口にするばかりは、容易いことでありますが、此の考を實際に行ふことは容易い業ではありません。然し千里の道も一歩からと云ふ諺もありますから、倦ます、急かず、時間の餘裕の出來ただけの間に德を修め、學を勉めて行つたならば、漸々に向上進歩し、慥に幸福なる人となることが出來ると思ひます。

歲の始めに當つて、私は前述のやうな覺悟を以て、是非進みたいと思ひますが日進月歩の今日に於て、此の思想は、或は一般御婦人達にも御同感かと感じまして一言申上ます。

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

私と子供

三井榮子

●自分のことは自分でさせる　子供は、善惡共に能く覺え易いものでございますから、家庭敎師の選び方などは、よくよく注意しなければならぬ事と存じます、私は子供が大勢居りますので自分の手の及ぶ限りは自分でして、其の手傳ひとして家庭敎師を使つてをります。

子供は少し油斷すると我が儘に流れやすいものでありますから、男子は獨立自營の心に富むやうに、女子は柔順にしたいと存じまして、何事も平民的に、高慢ぶりたり、又は祖先の財産を當にしたりする事のない樣常に敎へて居ります。

從つて娘たちには室の掃除から學校へ參ります準備など自分の事は必らず自分で致させて居ります。

●華美な着物は遊惰の基　只今は華族樣方の御子方より反つて町人等の子供が華美な服裝をして居ますが華族方の御質素には眞に感心で御座います。どうしても、子供などに華美な着物を着せますと遊惰な心を起し易いと存じます。

愛國婦人會評議員
三井榮子

私も娘たちには子供の時分から、特別の事情のある時の外は、大概木綿服を着せてをります。

●日曜や祭日が待遠しい　子供の敎育は母親が自分の手でするに越した事はありませんが、兩親の膝下では何と申しても多少我儘が出ますから、男の子は曉星中學の寄宿舍に入れて居まして、日曜や祭日だけ家に歸るのでありますが此日は子供達も大變に樂しみに致して居りまするし、また私の方でも、今日は子供たちが歸るからと朝早くから今か今かと待つてをります。そして其の日は一日誠に樂しく暮すのであります。

●シンガポールより

文學博士　幣原坦

左記は、目下洋行中の本會敎養所長幣原博士がシンガポールより本會敎養所宛送られたる十一月七日附の書信であります。

拜啓各位益御清穆奉賀候其後貴所には各位の御督勵の下に幸禮を享有せること〻奉察候東京出發の際は色々御懇厚の御配意を忝くし寮生までも新橋へ御見送らせ下され其時の別辭は今尚耳朶を去らず追懷の至に御座候豫定の通上海香港經由フイリピンに罷越更に香港より廣東海防河内に入り安南交趾に立寄り當地に罷出申候東洋國人がいかに西洋國人に凌駕せられつゝあるか否反て其臣妾たるかを目撃し轉た感慨に不堪何卒我國の少年をして益々奮起して大に爲すあらしめむことを祈るの外無之是に於て敎養所の興味も一入增加せる思ひに打たれ候明日より又ジャバ、ボルネヲ方面に罷越可申時下御揃御自重祈上候何卒寮生一同へも可然御傳へ置被下度候敬具

尚ジャバ方面より再引かへし本年の暮か正月頃當地發ビルマ印度へ相向ひ可申候

●注意いろ〳〵（一）

▲食慾不進と散歩　平常に比して食慾の進まないと云ふことはいづれ胃腸に故障があるに極つて居ります、この場合に多くの人は胃藥をしたり、或は炭酸曹達を飲んだりします、中には又食物を撰り好みをして、滋養品であれば、何を食べても宜しいと考へて却て胃病の上塗をします、醫師の訓へに依りますと、斯う云ふ場合には、藥を飲むより食を撰むよりも、先つ第一に散歩を試みるが第一のやうです、一回で効がありませんでも一時間位宛二回三回と續ける時には大抵は癒ります、若しそれが癒らぬやうならば、捨て〻置いては可けません。

諺言いろ〳〵

▲正月ある事は五月ある、

▲正月が三つ續いたら、

▲正月に餅春かず盆に鯖食はず、

▲正月三日に盆二日、節句一日、事日半、

▲正月の十六日と盆の十六日は地獄の釜のふたがあく。

謹賀新年

愛國婦人會發行所
八田一精
山澤俊夫
竹内貞三
德富廸
高橋三吉

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

箏曲評釋

松の下風

(十八)

●四季の富士

京都大學講師　池邊義象

(序)田子のうらなみうちいでゝ、見れば雲井に高き名の、山のすがたによつの時わくるぞわきていひしらぬ。

これは、萬葉集の山部赤人の名高き、田子の浦ゆうちいでゝ見ればましろにぞ富士のたかねに雪はふりける　といふによれるなり、その壯大なるけしき、いつよみても、目の前にあらはるゝがごときは、實に名吟なり。よつの時わくる云々とは、いつもながら、雪おもしろう降りつみて、四季にわけてそのけしきをいふことかたし、されど、おのづから四季のながめことなるさまあるが、特別に言ふにいはれぬけしきなりとなり。この序をおきて、あとに四季の眺を叙するなり。

(一)春はかすみの朝もよい、きのふの雪をそれながら、うへなき花の色そとて、見るや山はふしのね。

朝もよいは、きのまくら詞にて、きのふといはんためなり。春のけしきをいへば、きのふ、即ち冬の雪をそれながらのこして、上なき花の色と見するとなり。上なきといふに、山の高きをも含めり。ふしのねは峰なり。

(二)雪にたとへて三重かさね、あふぎをとる手のうら夏は、きえて夕ぐれの、なかめをうつすふしのね。

この段は、夏の富士のいかにもすゞしきさまをいへり。白氏文集に、扇の詩あり、

盛夏不レ消雪、終年無レ盡風、引レ秋生二手裏一、藏レ月入二懷中一。

このこゝろによりたるなり。三重かさねの扇を採る手に、風生じて夏のあつさも消る、その夕ぐれの眺をうつすふしのねとなり。これ富士のかたちの、扇に似たると、その頂の雪の白きが扇の紙に似かよふとを以て、いよいよ涼しきさまをきかせたるなり。

(三)秋は更なり、月雪見ぬ人にしもかたらば・なかなかなれやなかなかに、いはてやみなむふしのね。

秋のけしきは、一しほにて、この山の月雪のけしき見ざる人にはなまなかにいはさる方まさりなむとなり　更なりとは、言ふにも及はすとなり。之月雪のけしきの、すぐれてめでたきをいふ。いはてやみなむとは、言はすて止むべしとなり。けしきのうつくしき限をつくせることばなり。

(四)み冬になれはみやこ人、まつらむものを鳥がなく、あづまにすめばあさなぎに、見てこそあらめふしのね。

冬になれば、都の人にはけふや雪ふるあすやふると待つらむに、東に住めば朝なぎのよき日に居ながらに、富士の雪を見てあらむとなり。鳥がなくは、あづまの枕詞、常にはめづらしくおもしろきこと多かれども、この雪のふじのねは、東國に住むものならでは、見得らるまじといふなり。

(跡)時しらぬ、時しらぬ、やまはふじのね、いつとてかかのこまたかに、雪のふるらむ、かのこまたらに雪のふるらむ。

これは、名高き業平の歌にて、伊勢物語に出てたり。かのこまだらは、雪のむらきえてある山のけしきなり。

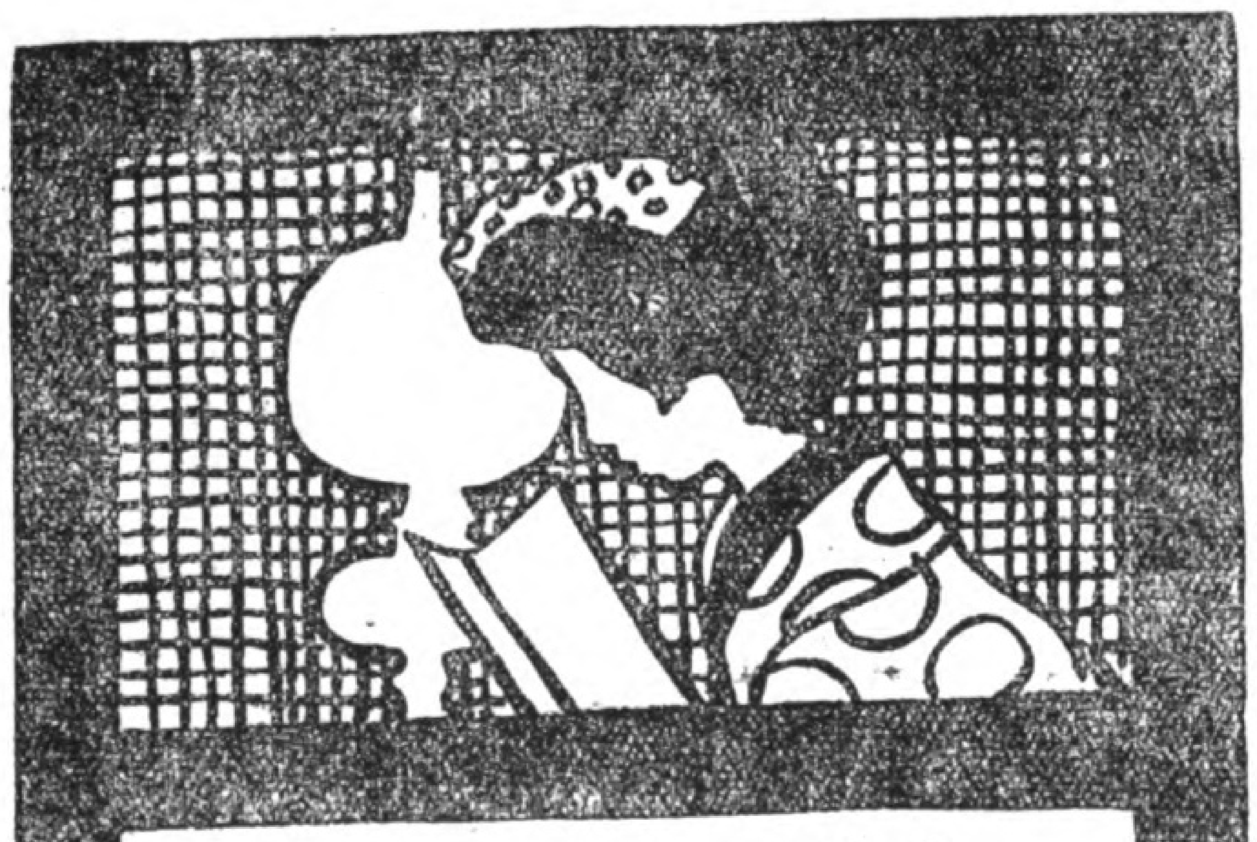
この一組、序に赤人の歌を出して、まづふしのけしきをおほらかにいひ、それより四季にわけて、その見えのことなるさまを逃へ、終りて、業平の歌を擧げて、結とせるなり。四季ともに雪を本としながら、春は花になぞらへ、秋は月の雪のうつくしさといへるなど心をこめたるをしるべし。け高き組歌といふべし。

ふるとしに春たちける日よめる　(業　平)

年の内に春は來にけり一年を
　こぞとや云はん今年とやいはん

春のはじめの御歌　(二條の后)

雪の内に春は來にけり鶯の
　氷れるなみだいまやとくらん



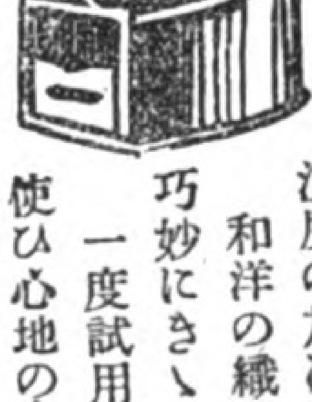
夢二畫集

春の巻　七版　定價五拾錢　送料八錢
花の巻　四版　定價四拾錢　送料四錢
夏の巻　六版　定價五拾錢　送料八錢
旅の巻　四版　定價七拾錢　送料六錢
秋の巻　再版　定價五拾錢　送料八錢
冬の巻　新刊　定價五拾錢　送料八錢
繪物語　サヨナラ　新刊　定價七拾錢　送料六錢
繪物語　小供の國　新刊　定價三十五錢　送料六錢

東京麹町二丁目二
振東京二〇九一四番
洛陽堂

謹賀新年

特許　千代田のし



○本器の特長
極少量の炭火で
長時間用ひられ
温度の加減自在にて
和洋の織物に
巧妙にきゝめあり
一度試用せばその
使ひ心地のよきと無類

○各高等女學校裁縫科御用
○送費無料木箱入貳圓五拾錢
○全國有名なる金物店に有り

發賣元
東京市淺草區茅町淺草橋際
阿部彦四郎商店
電話長下谷一九三三
振替口座一二三六三番

十二支の說明

●子年の人は福分は厚い、吝嗇ではあるが心は締つて居ります、親兄弟や夫との緣は比較に薄く、早く獨立せねばならぬ事になりますが、運氣は三十歳頃から開け始め老後は安樂に生活されます、元來人の世話をすることを好むので、所謂役德の多い性でありますから、親切を旨と致せば將來必らず人から畏敬され、又吝嗇の心を矯正して慈悲善根を積めば人より引き立てられ必らず漸次開運致します、されば不義の利德を貪らず、總ての事に心を一定して迷はぬ心懸けが肝要であります。

●丑年の人は正直で守ることが堅固であるけれども兎角事毎に屈托して捗取らぬ風があります、それで總て事に臨んで活潑に行動するが宜いのです、元來他人に引き立てられ生計も意外に順潮に向ふことがありますが、若い折りには苦勢が多く知らぬ他國の人に緣があります。性癖たる頑固と剛情とを止めて、交際を圓滿に致し、何事にも忍耐を主とし、能く人の意見を用ゐ、自儘の了簡を抑へて徐ろに事を行ふ時には次第に天運も開けて一家安樂に暮すやうになります。

●寅年の人は自然に人の上位を占むる相があります、けれども所謂位負して其割合に發展せず、他鄉に出で丶身を立つることになります、且つ事に當つて變じ易い氣性であるから、餘り氣移りせず家業を固守する時には生涯安樂に生活することが出來ます、身分不相當の望を企圖て、他人の力に依ることを忘れると大變に失敗することがあります、注意せねばなりません。

●卯年の人は、天性愛敬があり、自然人に愛される傾がありますが從つて男女共に貞操を全うすることが出來ないやうな患がありますから、十分にこゝに心を注ぎ、酒や食物に愼み、百事怠慢の氣を止めて、熱心事に當られればなりません、さすれば此歳の人は元來官福共に備はつて居りますから、意外の幸運を得る事が出來ませう、倘又事に臨んで熱心に乏しい傾もありますから、之れも注意すべき事の一つであります。

●辰年の人は、女ならば男勝りと云ふやうに活潑の氣象があり、氣短かに妄進する意があつて其の爲めに思はぬ不運を招く虞がありますから、常に心意を柔順にして忍耐を主とせぬ時は生涯發展することが出來ず、家庭も穩ならぬことに立至ります、であるから、性癖の短氣を抑へ、剛情を制し、又人を非難するなどのことを愼み、總て寛大に處するやうにすれば必らず家運も盛んに、衆人の上位に立つことが出來ます。

●巳年の人は、性質は柔和でありますが、物事を詞に現はさず言語が尠く、總て容易く人に心中を見せぬ風があります、而して萬事に能く注意が行き届き思慮も深いのでありますが、兎角疑念、嫉妬といふやうな性が深すぎる爲めに、一時の怒りに耻辱も忘れ我意を貫かうとする氣があり、却つて家庭の亂れの基をなすことがあります、けれども一方には却々に堅固な思想があり初一念を徹す成功的の氣象がありますから、無暗な嫉妬を起すことなどを止め、常に心中を快活にするやうに心懸けねばなりません。

●午年の人は、運氣が盛んで勢が大きいのですが總て事に臨んで熱し易く冷め易く、馴れ易く離れ易い氣があつて爲めに物事が成就せぬと云ふやうな氣性がありますから、吝嗇を愼み、何事にも僥倖を當てにせず、分限に應じて熱心事に當りますれば、漸次天運開き、將來圓滿に家庭が保たれませう。

●未年の人は、心が潔白で叮嚀に且つ曲る事を好みます、綺麗好きで總てが締まつて居ります、けれども餘り潔白な爲めに、怒る時には前後の思慮もなく妄進して後悔することがあります、元來一藝一能は必らず身につく性でありますから、一旦志した事は中途に撓まず熱心に仕遂げるやう致せば、將來必らず發運します、理窟張ることや、小言などは特に注意しなければなりません。

●申年の人は、總て他人の世話ごとをなし、敏捷の質で、物事に能く行き届く風があります、けれども時によると餘りに物事を輕卒に爲して失敗することがあり、又交際に巧みに、心移り易いのです、家庭の間は親密でも、親族間に不和合のこと起り、爲めに辛勞することがあります、移り易き氣性を愼み、大概に人の世話を止め、人より先きに口を出すことを注意せねばなりません。

●酉年の人は、性質が靜で智慮があり、且つ諸藝に達して居りますが、才氣に乘じて思はず身を破ることが生じます、又萬事に器用で何となく尊大の風があり、容易に心中を人に見はしません、婦人は良緣あり夫婦中睦じく、中年よりは運氣が次第に開けます、けれども性癖たる色慾を愼み、酒を禁んじ、身分不相當の事を企圖ではいけません、別して人を謀り人を欺くやうなことは十分に愼まねばなりません。

●戌年の人は、性質が極めて頑固で、且つ人の詞を用ゐず、反つて深く敵視する風があります、之が爲めに親友も少なく、家庭にも波瀾を生ずることがあります、元來鼻先の強い割に內心は臆病である、又義理に強く、恩を知る性質で、當世的ではありませんが、短所を矯正し、能く自ら守つて行き能く自己を知る人になつたらば必らず開運することが出來ます。

●亥年の人は、性質正直で貯蓄心に深く、能く勉勵爲ますが、速成を望み、遠慮の心が薄いので事々に專斷に失する過があります、殊に短氣の故に人の知らざる憂があります、人との交際は表面は親密でも內實嫌はるゝ風があれば、勉めて從順を守り、短氣と剛情を愼み、一應は人の詞を用ゐ、且つ物事に凝ることを止めれば大吉であります。

明治庚戌日誌

▲十二月一日（木）曇 伏見若宮殿下橫須賀御成◎淺見絅齋二百年祭（國學院大學）
▲同二日（金）晴 鄉男爵薨去◎淺間山噴火す
▲同三日（土）晴 昨日の淺間山噴火の大鳴動に就き天皇陛下より內務大臣に對し優渥なる御下問ありたりと◎帝國教育會總會
▲同四日（日）晴 三皇孫殿下新宿御苑御成◎昌德若宮竹田殿宮下御訪問◎皇族御同族會を芝離宮に御開催◎故加納夏雄氏銅像除幕式（東京美術學校にて）
▲同五日（月）晴 伏見若宮朝日艦長に任じ橫須賀御赴任◎德川貴族院議長重任。
▲同六日（火）晴 東久邇宮朝香宮兩殿下京都御成◎重野文學博士薨去。
▲同七日（水）晴 皇后陛下より閑院宮同妃、東伏見宮同妃各殿下に對し鮮鯛一臺宛を贈らせらる◎皇太子殿下明年四月倫敦にて擧行せらるゝ英國皇帝戴冠式に御名代として御參列あらせらるゝ事に內定したりと。
▲同八日（木）晴 故賀陽宮邦憲王殿下御一週忌◎公爵德川慶喜隱居す。
▲同九日（金）晴 朝香宮同妃並東久邇宮殿下京都より御歸京◎故重野博士に對し兩陛下より祭粢料金二千圓を賜ふ◎侍醫柏村博士逝去。
▲同十日（土）晴 故重野博士葬儀侍從御差遣の事あり◎竹田宮殿下陸軍大學卒業御祝宴◎幸德以下の社會主義者公判第一日。
▲同十一日（日）晴 故柏村博士邸へ侍從武官御差遣の事あり◎皇太子殿下竹田宮邸行啓◎子爵三浦安氏薨去。
▲同十二日（月）晴 光格天皇祭◎竹田宮陸軍大學御卒業御披露會◎赤十字總裁宮及本會總裁宮殿下沖繩へ御發程◎善光寺住職久我誓圓尼公遷化。
▲同十三日（火）晴 故三浦子爵へ祭粢料御下賜。
▲同十四日（水）晴 ファルマン式飛行機府下代々木練兵場に於て滑走試驗を成し三十尺許り飛揚す。
▲同十五日（木）晴 宮中賢所皇靈殿に於て御神樂の事あり◎前日の如く飛行機飛揚試驗あり。

歌 正式通信教授

◎第百二十七回會員二十名募集
會則及講義錄見本無代進呈
東京日本橋箔屋町十六 速成作歌學會

診察時間自午前八時至午後三時

本郷御茶の水 順天堂醫院

科	職	氏名
外科	醫學博士	佐藤進
外科	醫學博士	佐藤達次郎
外科	醫學士	八代豐雄
外科	醫學士	押川公介
外科	醫局員	笠間眞
外科	ドクトル・メヂチーネ	中山茂樹
外科	醫學士	小池德造
外科	醫局員	松本本松
內科 小兒科	醫學士	佐藤佐
內科 小兒科	醫學士	大瀧潤家
內科 小兒科	醫局員	菅野徹三
泌尿器科 皮膚科	醫學博士	阿久津三郎
泌尿器科 皮膚科	醫學士	坂口勇
泌尿器科 皮膚科	醫局員	南部繁
泌尿器科 皮膚科	同	小澤慶三郎
產科 婦人科	醫學士	橫田彌吉
產科 婦人科	醫學博士	吾妻勝剛
產科 婦人科	醫學士	大石貞夫
產科 婦人科	醫學士	下平倚
主任局	藥學士	北島安五郎

電話下谷 事務用 長三七八番 三六九九番 病室用 三〇三九番

謹賀新年

日本赤十字社病院御用達
蒸熱殺菌牛乳販賣所

本店 麴町區永田町二丁目

乳牛場 豐多摩郡千駄ヶ谷町

弊店の蒸汽殺菌牛乳は最良の牛乳を壜詰の儘一定の熱度と時間とを計りて殺菌したるものなれば滋養成分の完全なるは勿論消毒後開封せざるを以て黴菌等の侵する事なく又長時間腐敗の憂なきは壜詰殺菌牛乳の一大特色なり

鈴木牛乳店

電話新橋一九九五 振替口座東京二四二四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

応募和歌 猪

坂 正 臣先生選

天（ボンボン二エー一個贈呈）　岩代國河沼郡柳津　長谷川吉野子

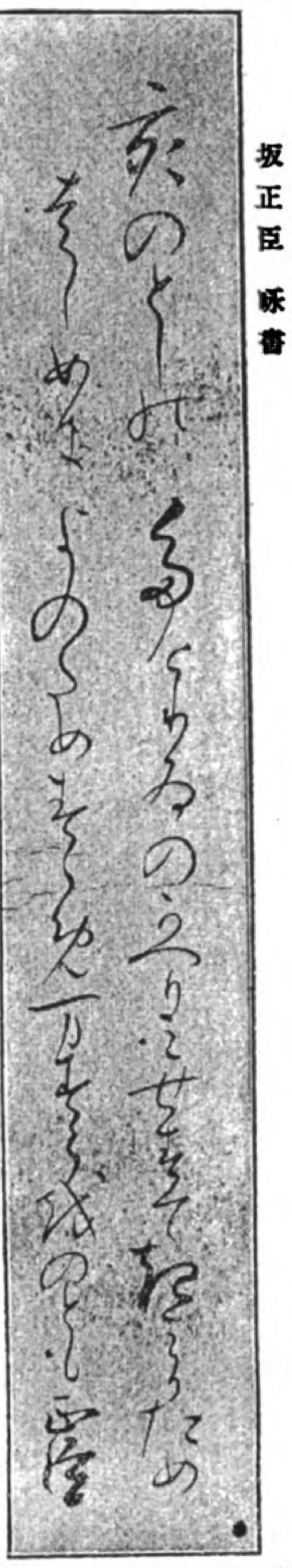
うら山のゐのしゝうつと獵男らは吹雪する夜を銃みかき居り

地の一（羽二重帛布本會記念品贈呈）　山口縣吉敷郡吉敷村　末田竹子

思ふ事ならさらめやは怒り猪のかへりみせすにうち進みなば

地の二（同上）　横濱辨天通四ノ八五　鈴木まつ子

はやりをの荒き心に似たる猪も子を思ふ心あはれなりけり



坂正臣詠書

人の一（本會記念品女持名刺入贈呈）　臺灣臺北府中街三ノ一八　浮洲德子

時まちて山に臥しつる猪のしゝもいでゝ進まむ年たちにけり

人の二（同上）　京都新門前　難波良久子

命をも惜まで進む皇軍の武き心に似たるいかり猪

人の三（同上）　長崎浦五島町　相部芳子

梓弓春のあそびと武夫はふじのすそのに猪をやかるらん

佳作

○

いかさまの夢か見るらん檻の中にさも安らけく眠るゐのしゝ　岩代　爲田よしの子

○

かり人のいた手負はせし怒猪のほゆるをきけばおそろしき哉　山口　末田貞節子

○

立つ年の名にさへ負ひて怒猪もかるもの床をいでゝゐるむらん　三重　莊司種子

○

をりの内に住む猪はいかになれぬとも深山のおくを尙や戀ふらん　岩手　渡邊とよゑ子

○

狩人も今日はいてこぬ奥山の吹雪か中を猪の　兵庫　三畑たか子

応募俳句 雑

鳴雪選

天　播磨國宍粟郡菅野村　長田あき子

物思ふとにはあらねど秋の夜長哉

地　本郷區西片町德性寺内　小野おぼろ子

秋風や鎌倉武士の酒くさき

人　兵庫　三畑たか子

暮の鐘尼が撞くとよ紅葉寺

愛國婦人會教養所尋常五學年生伊藤秀一書

佳作

白菊の取りまいて咲く草家哉

○　福井　森谷竹子

凱旋の埠頭に菊のアーチかな

○　三重　前田とし子

鏡　公爵夫人九條惠子

よの中のたゝしき人をかゝみにて身のおこなひをよゝみかゝむ

●●●●●

●苑友に申す

苑友諸姉を相互間に紹介致し間接に御親睦を企てん爲め諸姉の御肖像を本紙上に揭載致し度候に就ては御寫眞一葉當發行所宛御郵送の程願上候

愛國婦人發行所

傘の人橋を行くなり宵の秋

○　芝　中隈富士子

古塚の邊りに咲て鬼あざみ

蟬がらのすへり落たりつはの花

○　本郷　小野おほろ子

今や入る日に美しき花野かな

秋日和干し竿映る障子かな

愛國婦人會教養所尋常五學年生　野村芳雄書

○　岡山　白露子

朝寒の衣短きを覺えけり

○　岩代　長谷川吉野子

吹雪して漁村飛び飛びし灯のともる

○　富山　千葉東菊子

法師等の蕎麥くいに來る夜寒哉

○　城山　よね女

秋の夜の小松吹山く風凄し

○

笠着ればよそになり行く時雨かな

かきよせてたかんともせぬ落葉哉

○　福井　三谷富士子

木枯も時雨もわかぬいほりかな

尼寺の軒に淋しき干葉かな

○　同　濱子

小春日の羽力なき蜻蛉哉

○　日本橋　大橋まさ子

寒月やまとにうたよむ内侍哉

○　備前　日野かめ子

初しぐれ落葉の上を通りけり

○　佐渡　中川とら子

秋晴れて女同志の小弓引

○　備後　妹尾常子

凩に軒端に亂るゝ干葉かな

○　大阪　中野れん子

牛部家に運ぶ寢藁や冬の月

▲愛國文苑▼

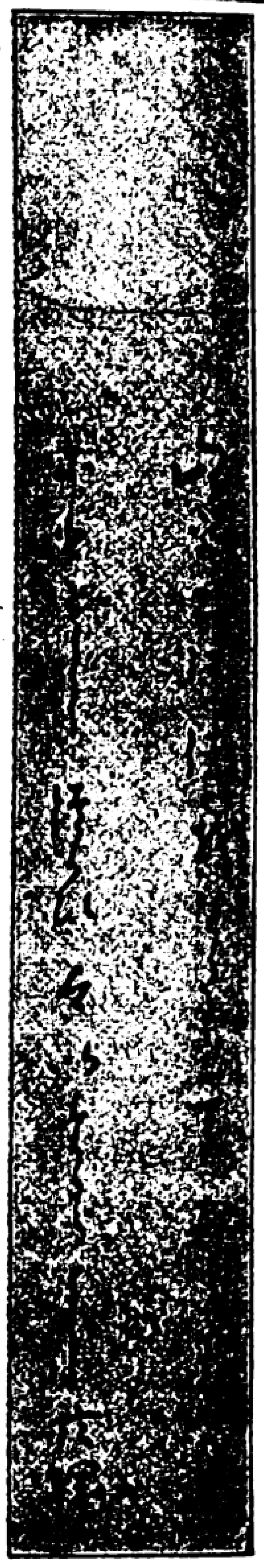
⊙和歌　坂正臣先生選

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

かけるより

○大御代の恵に馴れて菰の内に安く臥す猪の愛しと思はぬ　麻布　志貞浩子

佐佐木信綱　評書



谷の雪に伏猪の床の凹みかな　麻布　田中稻子

○矢を負ひし猪立つ丘や冬の月　岡山　森島古野子

○猪の牙も折れよと吹雪かな　岩代　長谷川吉野子

○猪猛ける聲にいやます雪吹かな　神戸　坂本嵱子

○猪の月に牙とぐ岩根かな　備後　世應龜子

○冬の月伏す猪の床を照らしけり　青森　棟方みよ子

○谷間にならびふす猪や冬の月　山城　古川よね子

○夜嵐に逆毛を梳る野猪哉　岩代　小川しん子

○萩吹くや猪住む山もなつかしく　岡山　壘江幸子

佳作

人（本會記念品 女持名刺入贈呈）

猪。の。群。れ。渡。る。川。や。雪。の。朝。　越中國石動町　川崎政子

地（本會記念品 羽二重帛布贈呈）

猪。飛。び。に。來。て。た。ゆ。た。へ。る。兒。猪。哉。　麻布區材木町二三　田中雪子

天（本會紋章付ボンボンニエー一個贈呈）

猪。も。共。に。年。取。る。旦。哉。　岡山縣和氣郡片上町大字西片上　守野千代子

懸賞俳句　猪

内藤鳴雪先生選

朝ばらけ脛に露せる小猪哉　岡山　吉村極子

○太平の御代とて猪の眠りかな　宮城　齋藤なよ子

○明月を抱へて眠むる伏猪かな　備後　荒木科子

○猪の夢まどからし月の丘　四ツ谷　志良ふぢ子

○牙鳴らす猪に錦の紅葉散る　備後　日野かめ子

○猪賣の草の戸叩く雪の暮

猪の肉丹波の妹が土產哉　兵庫　三畑たか子

○猛る猪に皆草の伏す野中かな　美濃　酒井蝶子

○猪を射るそれ矢にちりぬ梅の花　長崎　柏部芳子

○猪や若松山をかけめぐる　越中　川中政子

鶯の色なる聲におくれじと　はるをあらそふ庭の梅が枝　絢子

番卒の門に立居る月夜哉　長崎　松本世外

○昔翁雀を訪ひぬ竹の春　三河　市川はな子

○鮎落ちて長良は唯の流れかな　備後　世應龜子

○百舌鳥なくや夕日ちりぢり我を射る

秋風に硯の海の戰き哉　福井　三谷貞子

○ほろほろと零餘子の落て秋の行く

寺納の額になひ行く小春かな　長崎　相部芳子

○夢のやうな人たゝずめり朝の霧

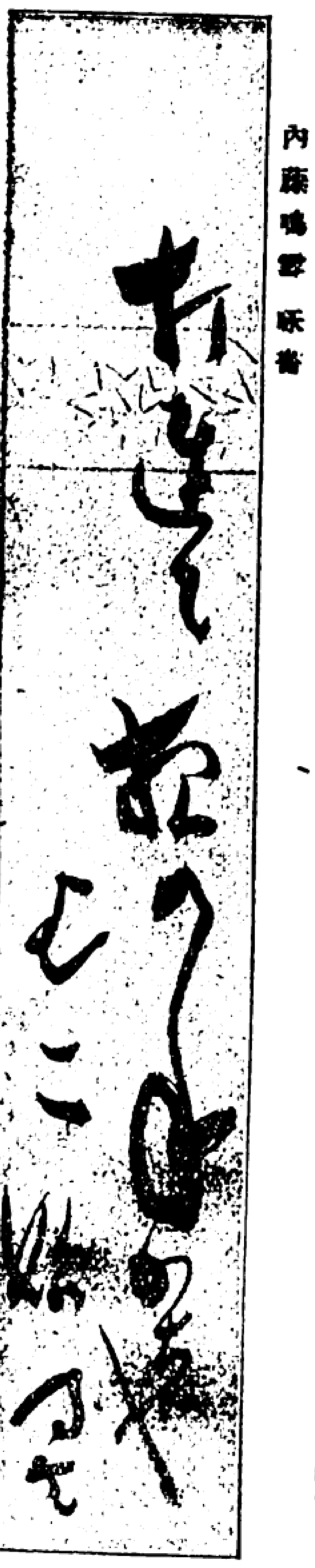
語らへば與ある人よ時雨傘　三重　莊司たね子

○菊狩りや狐にも逢ふ稻荷山

筏士の尻に入日や水寒し　美濃　酒井蝶子

まろう人に灯澎ろうたし菊の宿

内藤鳴雪　評書



茶の花に塵はきよせぬ寺の道

後の月峠を下る僧と武士

山茶花にする墨香る廣間かな

夜寒さや宮落ち給ふ市女笠　兵庫　三畑たか子

○茶坊主のつくねんとして雨の月

僧泊めて經讀む秋の山家哉

鶯も小鳥にしかず秋の山　福井　古澤濱子

○暮れ安き日をあまつさへ秋の雨　三重　植田登美枝子

○萩咲くや女のみなる寺の寮　岡山　西村長子

○菊咲けど君は歸らず秋のくれ　三河　間瀬しやう子

○咲き殘る花も交るや草紅葉

石上に詩を題しけり紅葉狩　靜岡　築地せん子

○したゝめる文ながながし秋のくれ

⊙和歌　野若草（二月十日締切）　春雨夜靜（二月廿五日締切）

鶯告春（一月十日締切）　春月（一月廿五日締切）　佐佐木信綱先生選、

⊙俳句　冬期雜咏（五日、廿日の兩度締切）　内藤鳴雪先生選

●入選者には左記の賞品を呈上致します

天　賞品、宮内省御歌所御校、兩陛下の御製を收めたる（日月帖）一部（俳句天賞は寫眞ブック一冊）

地　賞品、繪葉書ブック一冊

人　賞品、繪葉書ブック一冊

◉應募規定

▲用紙は可成端書に願ひます

▲和歌は一人一回五首限り俳句は十句迄

▲字體は明瞭に御書き被下い

▲匿名でも宜しいのですが、賞品送附の都合もありますから住所姓名は必ず御明記下さい

▲一葉の端書に和歌と俳句を書いたのや題の違つた和歌を書いたのはいけません御注意被下い

▲期日は嚴正に守ります

▲賞品は發表後十日以内に送ります

▲愛國文苑▼

蓬萊に聞かばや伊勢の初たより　（芭蕉）

△行事　一日宮中にては四方拜を行はせらる、民間にても屠蘇雜煮餅を祝ふ　○三日は元始祭とて皇宗皇靈を祭らせたまひ　○四日は政治始あり　○五日は新年宴會にて皇族大臣以下に酒饌を賜ふ　○七日御講書始め　○八日は陸軍始、觀兵式擧行あり　○中旬頃に和歌始めのことあり　○三十日は先帝孝明天皇祭　○消防出初式は多く四日を例とす　○七日門松を撤す　○十六日は藪入とて男女の雇人一日の暇を得て思ひ思ひに遊ぶ、此日閻魔堂賑ふ　○初卯はの日に當る、龜井戶天神に詣づる人多し　○寒に入るは　日より。

△食品　白魚、鯉、鮒、はぜ、大口魚、鯛、芝えび、烏賊、章魚、牡蠣、蝋、からすみ、雁、鴨、栗、陸芹、獨活、菠薐草、わかめ、蜜柑、皆此月の好味なり。

△日曜　一日、九日、十六日、廿三日、三十日

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小説

風馬牛(五)

園　鯛

其ですから、お上でも平凡の人だと思つて、矢張小學校の敎員の中で、其方より後に出た人には月給を昇げても、其方は元の通り、其でも平氣で、學校が退けると圖書館や、何かの先生の所へ通て入らつしやいます、此間グロードスといふ大學の先生をしてお在でになる、獨逸の方のお宅へ請待れて參つた時、偶然お目にかゝつて、其の方は昨年私の所へピヤノの稽古に入らして、半歳ばかりお習ひでしたか、モウ止めると言はれますから、何故お止めになりますか、併し全體貴方の樣な御氣象の方が、音樂をお習ひになるのからして不思議ですなあ、と申しましたから、イ、エ、然うで無いです、人は只理性ばかりでも偏物になるから、何か優美な趣味や、園藝の樣な道樂が無いと、餘裕といふものが出來ない、けれども其の方法なり手解なりが無ければ、トウトウ知らず嫌ひになるから、其の手解きだけ習つたのです、是れからモウ自分の樂しみと、人の技を知る位の道を知つたから先よろしいと仰しやいました、其れが半歳目にお會申したのです。其れから二三日經つて、グロードスさんのお宅へお禮に參つた時、其の方のお話が出て、グロードス先生は、大層感心して在ッしやいました、珍らしい頭腦の良い方だつて……然うすると、又先日其の方がお入來になつて、マーチの譜を忘れたから敎へて呉れといふ事でお習ひになつて後で種々お話のありました時、貴方も失禮ながらモー廿三四か、五位にお爲りでせう、未だお急ぎでもムいますまいが、良い夫人が有つたらお娶ひになりませんか、と申しますと、然うです、何れは娶ひますが、私の樣な變調な男に適ふやうな女は今の世に有りませんよ、イヤ、今の世の化物は娶う氣になりません、と仰しやいますから然んなら如何なのが適當とお思ひなさるかと聞きましたら、マア止しませう、無益ですからと仰しやいましたけれども、强つて聞きますと、然うです、マア一口に女らしいのが良いですなあ、併し女の德は柔にあるです。が、淫柔は紊すから可けません、柔克く剛を制すと

言ふのは、貞柔とか妥柔とかいふべき柔ですなあ、けれども、是れは理想ばかりです、實際ありませんよ、萬々一有つても駄目です、先方が……アハヽ……といつて冷笑ひをして在らしやいました、お話をして見ると、全然世の中を馬鹿にして、今の人間をば子供のやうに思つてお在でゝす、……併し、朽木さんの樣に綺麗な方では有りませんよ、俳優の樣な媚嫡した男ではムいません、お顏からして凛々とした方です……」

道子は先刻まで只自己の鬱積て置いた溜飮を吐き出した樣に、神秘の鍵を開けて、中城といふ恩義もあり同情もある人に、一切の心事を打明けて心が爽々したから、モウ何等の希望も無くなつて、只中城の話を他事のやうに聞いて居たが、力のある、が、話次談豚が沁々と自己の理想、最早斷念して居つた理想、忘れて了つて居たやうな人生の觀念を抽き出される心地がして、漸々自己の意中に入り込んで來たから、一旦遣つて、モウ絶無と諦めて居た物が、意外の所に在つたやうな驚きと喜びとを混合して、急に床しうなつたもんだから、我知らず膝を進め、心を傾けて聞いて居た、而して萎れた手で物を取るやうに、

「先生、今時其樣な方が能く在つたものでムいますねえ、……私の心をお引きになるのでムいませう。」

「本當ですよ、實に珍らしい方で、私も彼樣な方は始めてお目にかゝりました。私は能く英雄だの豪傑だの、又偉人だのといふ詞は聞いて居ましたが、見た事はムいませんけれども、彼の方の樣なのが本當の其れなんだらうと思ひます、ソラ何かの本に有りましたでせう、是れあ貴方の方が能く御存じ、ア、然う〳〵、惡い事をする術も知らないで居て、兎角惡事をする者は痴で、惡い事する術を知つて居て爲るのは賊、惡い事する術を知らないから爲ないのは庸、惡い事する術を知つて居ても爲ないのは傑、惡い事をする術を知つて居て爲ないばかりでなく、却つて善い事をするのは偉人だつてね、ねえ、彼の方のは必然此の中の偉人といふ方なのでせう、今は小學校の敎員ですけれども、必ず御出世なさいますから、イッソ、此の際にお決定になつたら如何です?」

「ハイ。」道子は我知らず返辭をした、而して心の中でも早や決定つたやうに思つて、

「先生、母などは何と申しますか分りませんが、私は何卒お願ひ致します。」

「是れあドウも早速の御決心で、私は自己が出世したのより嬉しう思ひます、併し、貴方の平常の御氣質にも似ないで、餘りお返辭が早過ぎて……貴方私を餘りな事を言ふと覺し召して、お擔ぎなさるのぢやありませんか。」

「先生、決して其樣な失禮致すもんですか、私全くなんでムいます。」

「マア、併し、能く彼の方の御容子や、御氣質をお覽になつて下さい。」

「イ、エ、私は其樣な交際なんかは出來ない方でムいますし、全然先生をお信賴申して居ますから先生のお目鏡でお認めになつた事は、私が五年も十年も交際して確めたのよりも猶安心致します……」

「でも、私は元々他人の事ですから、萬一誤察した時には濟みませんからね。」

「イヽエ先生、血類だつて媒介口を挾く世の中でムいますもの、信ぜられませんけれども、先生のお勸説なら神樣の訓示と思ひます、縱ひ間違つてお見込が外れても構ひません、決してお恨み申すやうな事は致しません。(つゞく)

新刊紹介

▼イエスキリスト(佐野天聲著)　著者の自序に「あながちに耶蘇嫌ひならねど厭味ある此敎の匠氣に辟易し鼻掩ふ者世間に多し　此書はかゝる人のためにつとめて匠氣と洋臭とを去り　著者の好む程度に於て和臭と想像と興味とを按排して書き綴りたり」とある通りに宗敎上の書に特有の臭氣を脫して趣味を加へ、偉人キリストの生涯を記述したるもので口畫として四十幾葉の泰西名畫を挿みたる　表裝に意匠を凝したる誠に結構な著書であります、文章に於ては著者が天聲氏だけに申すまでのこともありますまい(定價一圓五十錢　麴町區平河町金尾文淵堂)

▼孔子之聖訓(一條公爵東久世伯爵共著)　兩閣下が國民道德涵養の爲めとて　編著せられたものでありまして國民の精神的敎育の資として　男女共に是非机上に備へる必要がありませう(定價八十錢　東京麴町區平河町金尾文淵堂發賣)

▼新家計簿(山縣みさを編)　何れの家庭にも家計簿の必要あることは申すまでもありませんが、此書は此種のものゝ中でも最も優れたるものと存ぜられます、健全な家庭の主婦の手に此書を捧げたいと思ひます(定價四十五錢、府下巣鴨内外出版協會)

恭賀新年

人若し藥を需めんとせば須く撰擇を要す

●清心丹の三大特色は

一効能の確實

二品質の善良

三價格の底廉

主治効能

心思欝憂、頭痛眩暈、胸痛腹痛、過酒過食、惡心嘔吐、留飮宿食、中暑中寒、下痢疝痢、舟車不快、咯痰咳嗽、咽喉不調、齒痛口臭、

定價　壹圓箱入　五拾錢箱入　參拾錢鑵入　拾五錢鑵入　拾貳錢瓶入　貳拾錢紙包　拾錢紙包　五錢紙包

本舖　東京市日本橋區元大坂町八番地　高木與兵衛

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●流行の春着（三越のしらべ）

▼八九歳の令孃向き、紋付としては千歳模様、模様は有職風草花の極めて優美なる菊、梅など、又美しき草花に刺繍をあしらひたるものなど、

▼二十歳前後、の令孃又は若夫人向きとしては、薄紫、藤鼠、藤葡萄など藤色系統の物、模様は矢張り有職風の草花模様勅題に因める月夜の梅など、

▼三十歳前後、三十五六歳位までの方には、藤色は少々派手とて、藍色を澤山に含ませたる鼠色（紫鼠の事）が注文多しと、されど總體に本年は、

▼黒色が流行し、黒の注文も中々に多きうちにも、特に注目すべき現象は、今まで黒は上着一枚だけにて下は大概白と定まりたるものが、本年に入りてよりは上下黒の二枚襲が新に流行し始めたりと、要するに一般に色の嗜好薄らぎて、同時に極端に黒が流行し來りたるものなるべし。

▼模様は、矢張り有職風、勅題ものなど

▼小紋は、トント流行かすたれて、其代りに令孃向としては、紋縮緬、山繭入若くは繻子入縮緬などの無地の紋付流行し其他紋柄を織出したる光華お召或は紋鹽瀬お召の縫ひ紋が令孃及若夫人向として最も流行す。

▲地味向き、ずつと地味向にはお召縮緬の無地又は紋の異なる品好き捨柄の裾に意匠に富める模様の軽い刺繍を施したるもの、更にずつと地味向とてもは高波縮緬の無地に縫ひ紋。

▼帯は、柔い沈んだ澁味が流行なれど、春着用としては矢張、派手に美しき糸錦唐錦など宜し、模様は之れも有職風にて小葵形、松皮菱などの地紋として、其上に有職風の四季の草花、菊、梅などにて巧に配合されたるもの、

▼地色は、薄茶地にて、極く薄き白茶地よりは、白地の方流行し、又之と反對に昨今黒色の帶が流行にて、之は薄色の着物の帶地として至極色の配合もよろしと

◎歯刷子と歯磨粉に就て

齒科醫 勳六等 檜崎東陽先生述

歯刷子は毛製と鯨髭製の二種あれども必ず毛製を用ふべし。毛製中又種々の品あるも毛は軟硬中性を撰び總て品質の善良なる物を使用すべし。其使用法は少量の歯磨粉を附け。外側は總て歯の縦に用ひ臼歯の内側は縦に用ひる事能わざるが故に横に用ひ能く内外並に咀嚼面を注意して使用すべし。又歯磨粉は十分注意せずんば在る可からず。粗悪の品を用ゆる時は歯牙を損ずる事甚だしく却て害あるも益なし。最近我國に於ける歯磨は種々あるも調和最も宜しきを得たるものは東京帝國大學教授丹波藥學博士方剤のはら歯磨は普通ありふれの歯磨と其類を異にし硬柔の中性其度を得偉大なる殺菌消毒の効力を有すると同時に齲牙天然の光澤を現出せしむ。同歯磨は啻に歯牙保全のみならず歯齦を健固にし口腔内の惡臭を除去し身心をして爽快ならしむる等甚だ見るべき點多し。

謹賀新年

流行ショール
毛布 膝掛類

中林商店

神田區小川町通停留場前
（電話本局二四一九番）

新年の
女子文壇と少女は見るに限る

各美麗なる石版極彩色の額繪附録付

▲女子文壇 定價貳拾錢 送料壹錢半

▲少女 定價拾錢 送料壹錢

【女子文壇社出版】
東京市京橋大鋸町

●此二雑誌は各地書店に備あり最寄書店にて内容御覧の上御愛讀を願ます

本郷根津 眞泉病院 下谷電四三九

婦人科 産科
醫學博士 千葉稔次郎
醫學士 中島嚢吉
醫學士 櫻林格造

內科
醫學博士 栗本東明
醫學士 野村華造
醫學士 白川彌源太

ちゞれもくせも
もはへうけあい
一大奇方劑

本法は女髪結師安部歌子女史の多年實地研究したる秘法是迄の使用者を悉く満足せしめたる一大奇法なり照會者は往復はがきにて申込あれ

東京麹町區三番町六七 小林濟世園

謹賀新年

本館ノ特色ハ特許、實用新案、意匠、登録、商標、等ノ最モ其斬新ナル物品ヲ陳列販賣スルニアリ

明治四十四年一月元旦

發明館

京橋區銀座二丁目
電話京橋三三七、三三八

謹賀新年

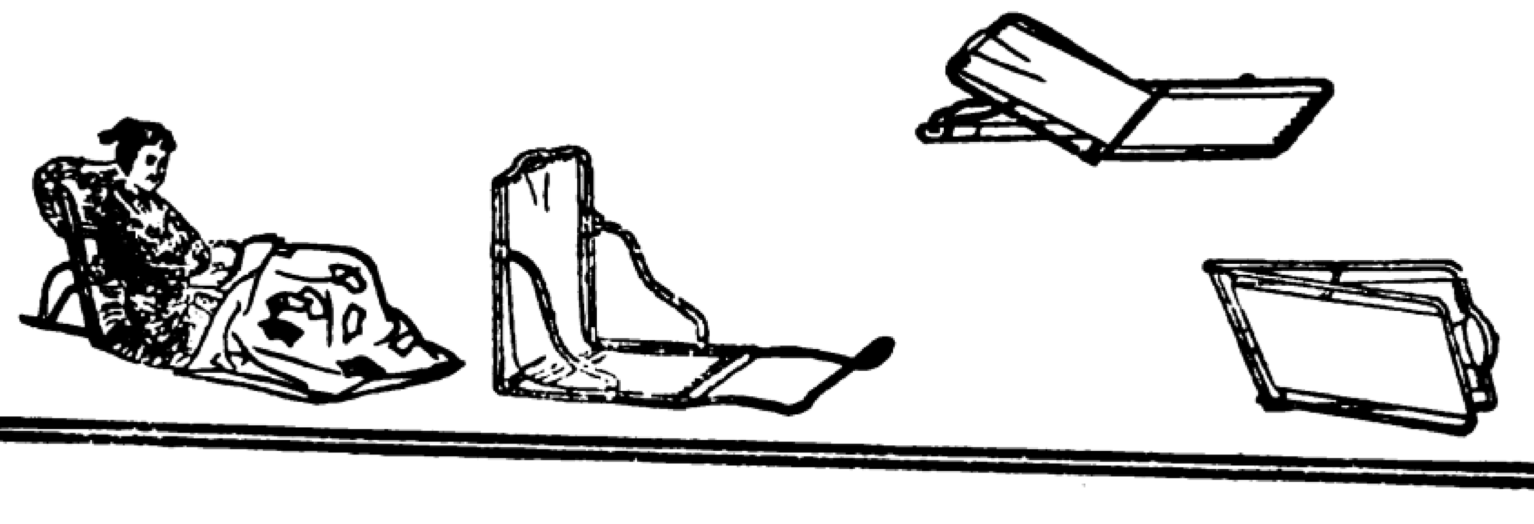
一森式座椅子

一個にして圖の如くいろ〳〵になり老人姙婦其他各種病者は固より健康者にも身體に慰安を與ふる唯一の品にして殊に季節柄炬燵などをなさるには至極適當であります

特約店 東京 大阪 三越呉服店

製造發賣元 樂民堂
（東京市芝區下高輪町廿一番地 電話芝一〇九五番）

（販賣店各地に在り）



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第三銀行

創立　明治九年
資本金　五百萬圓
積立金　壹百八拾萬圓

東京市日本橋區小舟町
株式會社 第三銀行
電話浪花 四四二 四五一 三七七 四五六〇

監督　安田善三郎
頭取　安田善四郎
營業部長　清水虎吉

全國送金無手數料
其他銀行一般の業務便宜に取扱可申候

森村銀行

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行
電話(特)本局六七三番
電話本局四九八番

定期預金　六ヶ月　年四分五厘
當座預金　百圓に付日步　五厘
特別當座預金　同日步　九厘

十五銀行

資本金千八百萬圓

東京京橋區木挽町
株式會社 十五銀行
電話新橋 一三〇番 一五三〇番 三一九三番

同日本橋區新乘物町
同 日本橋支店
電話浪花 一九〇一番 三二七四番 三五〇五番

一定期預金　六ヶ月以上年四分
一當座預金　日步五厘
一特別當座預金　同　八厘

「ゼム」

消化と毒けし
ゼム
懷中良薬
口中香錠

皆様(みなさま)
今日(けふ)もまた
丈夫(ぢやうぶ)で元氣(げんき)で
心(しん)から愉快(ゆくわい)に
「暮(くら)す様(やう)」
「ゼム」を
今(いま)すぐ
召上(めしあが)れ

帝國貯蓄銀行

銀座一丁目河岸通(電話新橋八一六〈〉二八〈〉)
帝國貯蓄銀行

飯倉支店　飯倉三丁目
赤坂支店　赤坂表一丁目
四谷支店　四谷大通り
本郷支店　本郷一丁目角
神樂坂支店　牛込神樂坂上
吾妻橋支店　淺草雷門前
須田町支店　神田須田町
米澤町支店　兩國米澤町
品川支店　南品川一丁目
横濱支店　横濱吉田町
代理店　日本橋坂本町田中銀行

●一錢以上何程にても御預り最も御便利に取扱ふ●毎月五日迄の御預金には全月分の利子を付すべし

竹久夢二作　新刊　繪物語　小供の國

○小供の國には門番がゐない。だから何處へいつても構はない。
○小供の國には病氣がない。だからいくら喰べても構はない。
○小供の國には夜がない。だからお化なんか出やしない。
○小供の國には時間がない。だからいくら遊んでゐても構はない。
○小供の國には老人がない。だから歌つても叱かられない。

定價三十五錢　送料六錢（面白い繪や物語とが百色もある）

柴田流星著　夢二畫　新刊　少年實物教育　飛行器物語

十九世紀文明の後を享けて吾々が迎へた廿世紀に於て研究すべき問題の最も大なる一は兒童といふことだとは今や世界の定論で隨つて實物教育の必要は刻下の須要であるのです處で近く世界を壓倒する程の勢で流行し來つたものは此飛行器ですが日本では未だ昨今少し騷ぎだした姿です勿論外國から流行つて來たもので彼國が盛んなのは當然ですが今日海外の新聞雜誌を見ますと殆んど其凡てが飛行欄を設けてをりますそこで洛陽堂は少年少女方にも解るやうに飛行器のことを書いたものを出版して見たいと存じまして種種著者と相談の上本書を公にすることになりました故に本書は少年少女方ばかりでなく一般の方々に飛行器一ト通りのことがお解りになつて而かも面白い物語を御覽になるやうに作てあります

定價二十八錢　送料四錢（飛行器の寫眞や繪が澤山ある）

最新刊　兒童を謳へる文學

高島平三郎先生編●竹久夢二畫伯挿畫裝幀

高島先生は我國兒童研究の建設者なり本書は過去二千五百有餘年に於ける兒童を謳へる長歌、和歌、俳句、川柳、俚諺、俗謠、隨筆を類別し、爛漫花の如き兒童の天眞を紙上に活躍せしめ、加ふるに色刷挿畫は青年畫家として自由畫の明星夢二畫伯の筆に成り、有聲の畫、無聲の詩兩々相對して錦上花を添ふるの趣あり、實に學校家庭に缺く可からざる寶典なり。

定價壹圓　送料八錢（菊判三百頁裝幀斬新　挿畫木版彩色十六葉）

發行所　東京市麴町區麴町二ノ二　振替東京二〇九一四番　洛陽堂

大賣捌　東京堂　文榮閣　上田屋　文林堂　東海堂　六合館　至誠堂　大阪盛　北隆館　榮

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一美一

一美一　一美一

シモンクレーム

羽二重のやうに滑かに薔薇の如く美しく色を白く艶をよくする美顔用

佛國レモン會社製

三越呉服店を始め到る處の化粧品店及小間物店にあり

Crème simon

恭賀新年

◎勅題に因みて考案致し候御年玉用帛紗半衿其他手拭地に至る迄種々陳列致し置候間何卒御來店御買上の程奉懇願候

○遠隔の御方は通信販賣課宛御手紙にて御用命被下候へば即時小包便を以て御送附可申上候

振替口座東京九八

一月元旦

東京日本橋
白木屋呉服店

最上醤油

品質優等ニシテ調理ニ適ス

發賣元　日本橋區小網町三丁目廿七番地　濱口吉右衛門

釀造元　下總國銚子町　濱口吉兵衛

宮内省御用達

最古醤油之元祖

上

開業貳百六拾六年

釀造元　下總國銚子町　濱口合名會社　振替貯金口座五〇貳壹番

頭髮の美！頭髮の美！

生髮を增殖し、健全にし且つ美しき光澤を保たしめんとせらるゝ方は必ず先づ此毛髮洗滌液

ペトロール、バーン

PETROLE HAHN POUR LES CHEVEUX

を使用せられよ本品は目下歐米到處の貴婦人、令孃間に尤も愛用せられつゝあるもの用にせらるゝ毛根の腐るを防ぎ光澤を去り脱毛を再生せしむる神妙なる特効あり、而かも何等の危險なく馥郁たる香氣を有し使用後極めて快感を覺えしむ眞に理想的のものなり

代價　小瓶一圓廿五錢　大瓶二圓

日本代理店　横濱市山下町七十番　エー、ハイム商會

帯揚
帯帛紗
伊達巻

電一九三〇

●軍人遺族癈兵及び愛國婦人會員に限り定價一割引。且つ送料不要

●在鄉軍人及び遺族癈兵にて販賣希望の有志者は特に割引可致に付郵券參錢相添へ申込ありたし

●右軍人遺族癈兵又は愛國婦人會員愛國婦人愛購の諸姉にして御希望の方は該發行所へ御掛合被下度候

福井堂

故陸軍々醫總監　日本赤十字病院長　從二位勲一等子爵　醫學博士橋本先生處方

胃腸肺病原因療法　救世丸

主治効能　強力なる消化、殺菌、防腐、滋養の作用を具備し胃腸を健全ならしめ肺、肋膜等の諸結核菌を全滅し從て赤痢、チブス、コレラ等の傳染を豫防するに特殊の卓効を奏す

藥價　試用　三十錢　小瓶　七十錢　十瓶　一円五十錢　大瓶　一円八十錢　兩劑共

宮内省侍醫　宮中顧問官岩佐病院主　正三位勲一等男爵　岩佐先生處方

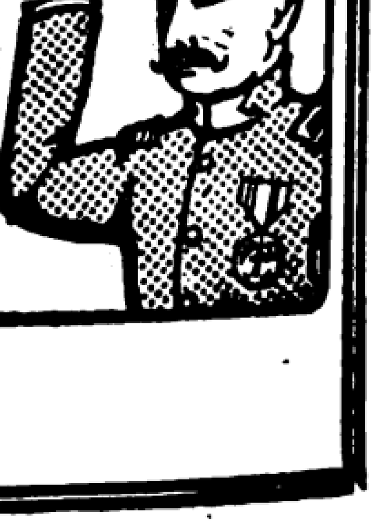
婦人諸病原因療法　壯婦丸

主治効能　ヒステリー、子宮諸病、月經不調、氣鬱、動氣、逆上、腰痛、産前、産後等婦人病一切の靈薬にしてめまい、頭痛、不眠、便秘、神經衰弱等には男女共に偉効を奏すべし

効能書贈呈・販賣取次は本舗又は特約店へ申込るべし・全國薬店にあり

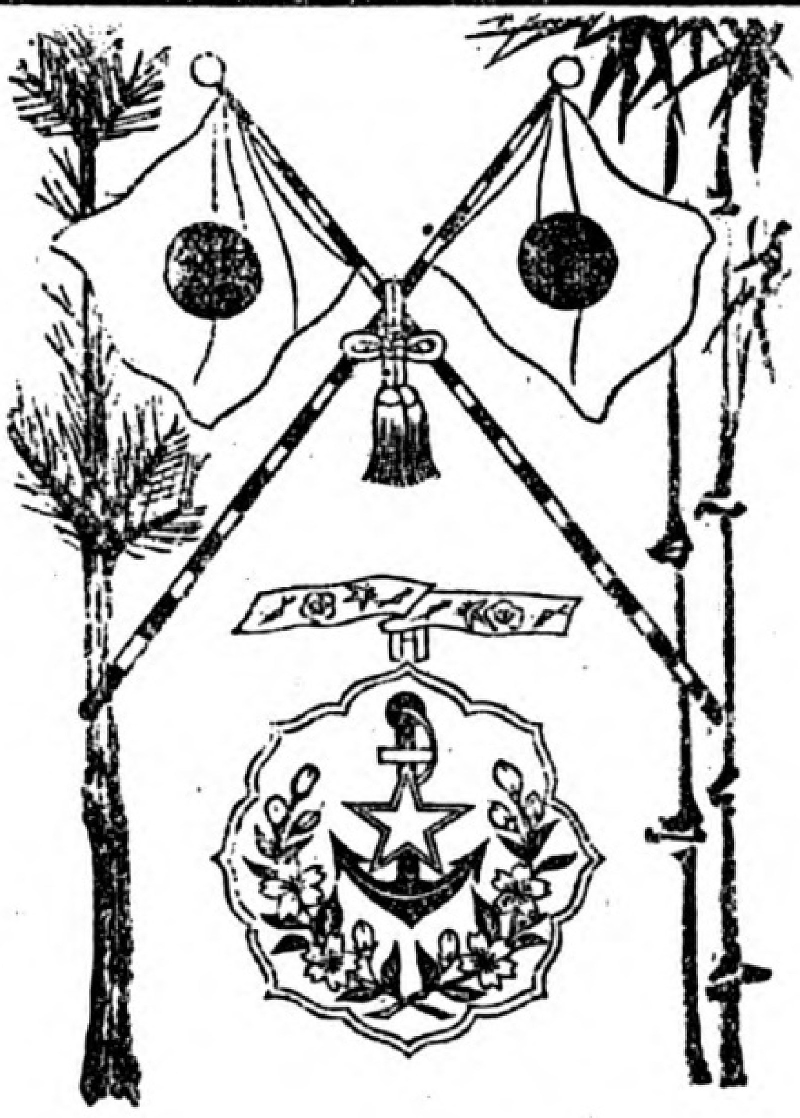
海軍藥劑大監水野先生監製

東京深川公園
本舗　合資會社　福井堂
電話浪花　五六九
振替東京二一六六



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

謹賀



新春

院長 ドクトル メヂチーネ 唐木保藏
唐木產科婦人科（入院隨時）
麻布市兵衛町區役所横通
電話芝二六二三

產科婦人科 午前宅診 午後本所江東病院
東京市赤坂一ツ木町七十二番地
醫學士 河島右一
（電話新橋四一七八番）

◉產室增築落成
日本橋區濱町貳丁目十一番地
產科婦人科 稻生醫院
電話浪花三三四三番

產科婦人科
小兒科
牛込區納戸町三六
電話番町一〇四〇番
野中醫院

產科婦人科一般
神田區佐久間町二丁目十七番地
松岡醫院
電話下谷三七五六番

腦神經精神病科
東京龜戸町電話浪花二五五二
加命堂腦病院

內科診察 宅診午前及夜間九時迄 往診午後
麹町區四番町四番地（電話番町貳三八四）
醫學士 中山敏樹

◉產科
◉婦人科（午前宅診 午後往診 入院隨時）
芝白金志田町五七番
魚籃坂下（電芝五壹貳）
野口醫院

◉院長ドクトル木村順吉
京橋卅間堀一丁目角（電話新橋二六七〇）
婦人科產科木村病院

◎產科。婦人科
◎內科。小兒科
小石川西江戸川二六
電話番町（一四二六）
森種太郎

◎產科婦人科
芝明船町十九虎門外
電話芝二六四二番
櫻井克巳

東京神田區美土代町三丁目十七番地
內科一般 午前宅診 午後往診
板垣亨
電話本局貳千九百七十番

○婦人科○產科○
飯田橋電車停留場脇
中島襄吉

耳鼻咽喉科
神田區美土代町一丁目十六番地
醫學士 榊田義衞
電話本局三一九〇

◉小兒科 殊に營養障害
淺草下平右衞門町十七
內山小兒科醫院（電下二參六五）
院長ドクトルメヂチーネ 內山好十

產婦人科 天本醫院
下谷區仲徒町二丁目卅五番地
院長 醫學士 天本治
（入院隨意）
（電話下谷二六六九）

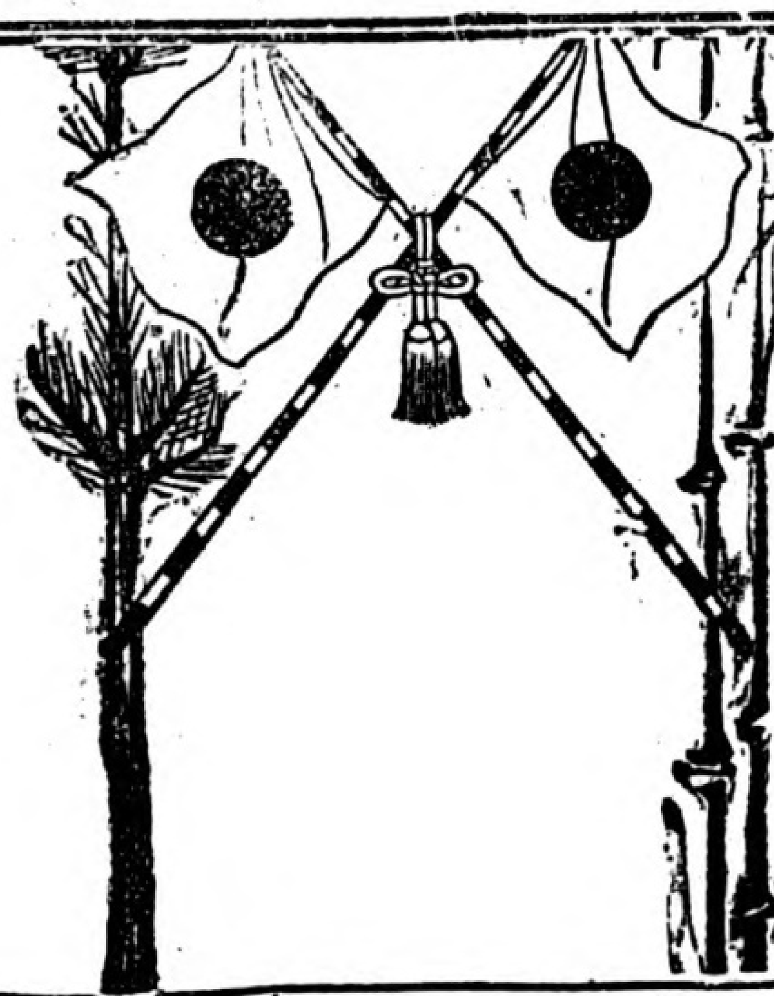
內田病院
淺草區新福井町二（瓦町電車停留場際）
病院落成に付隨時入院の需めに應ず
小兒科專門
院長醫學士 內田愼太郎
（電話下谷七一八）

…(診察時間)…
○產科、婦人科 入院應需
月、水、金午前 橋爪病院（濱花二六〇番）
（日本橋區龜島町一の廿九）
每日二時ゟ五時迄 自宅（下谷二四八七）
本鄕區眞砂町十五番地
醫學士 橋爪哲造

日本橋區濱町三丁目七番地
電話浪花一六〇番
濱町病院 產科婦人科
院長醫學士 小林八十七
醫學士 大瀨貴明
醫學得業士 杉原格藏

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

謹賀新春



院長診察、月、水、木、金、午前、入院、診後應需、松田、林、峰間三副長ハ目下當院ニ在勤

電、本八八八番（病院用）八九八番（私宅用）

東洋內科醫院

東京神田區駿河臺鈴木町二番地（御茶水橋附近）

院長　醫學士高田畊安

神奈川縣高座郡茅ヶ崎町相海濱（從停車場半里）

電、チカサキ二番

南湖院

河野、高橋、兩副長ハ目下當院ニ在勤、院長診察土曜日午後、入院、診後應需、

產科婦人科小兒科

女醫鷲山彌生

診察時間　院長　毎日午前八時より　醫員　毎日午後三時より

內科部長醫學士武智基造

診察時間　火木土午後壹時より

病室及產室の設けあり入院隨時

東京至誠病院

東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地　電話番町二二五七

岩佐病院

日本橋區蠣殼町二丁目廿三番地（電話浪花六七九番）

診察時間　自午前九時至正十二時

內科婦人科　院主　岩佐純

內科　院長ドクトル　岩佐新

外科　醫學士　山村正雄

產科婦人科　醫學士　佐久間兼信

腦病脊髓病　醫學博士　土田卯三郎

女子習字通信教授

●肉筆の手本により丁寧親切に教授す（規則郵券二錢）

東京牛込區市ヶ谷富久町八九

芳蘭女塾　小山旭霞

腦神經精神病

東京赤坂青山病院

帝國腦病院

院長ドクトル　醫學士　齋藤紀一

醫學士　田澤秀四郎

望月溫象

電特芝二七四五　芝二六六五

醫學博士　榊順次郎

醫學士　久保德太郎

醫學士　田代謹二

毎日午前診察　日曜水曜午後婦人科的外科　火木土曜日午後泌尿器病及內科

●●施療火木土午後自一時至二時　施療姙婦產婦ヲ取扱フ

婦人科產科　榊病院

麴町區三番町三三（電話番町三九五）

けがきづ

きりきづ、すりきづ、かみきづ、やけど、くつずれ、毒蟲さゝれある人すぐ用よ、

◎便利此上もなし

コーして繃帶を卷く代に一寸一二滴たらせば直に消毒して皮膚樣の繃帶が出來、更に容ばらず人に目立ず湯水に濡たり取れる事なく其上血のでる所は直に

血を止める實にふしぎに便利調法の家庭常備品なり

發明製造元　東京向島小梅町　松尾製藥

●價十錢半オンス廿錢一オンス卅五錢

發賣　東京日本橋小網　本店　大阪市高麗橋一　支店　山崎太陽堂

「人性」主幹　石橋臥波氏著新刊

寶船と七福神

正價　郵稅（寫眞版圖五十餘入）

一年の計は元旦に在り、初夢の吉凶は、一年の緣起にかゝる。寶船は、この初夢の凶を流し、吉を求むる呪にして、元來貧乏神の乘り込みした、七福神これに入り代り、一般の祝儀物となりしもの、更に、我國民の幸福を守る七福神は、國民の理想とする福德圓滿の境涯を代表せるものにして、それらの由來と本性とを明かにし、且つ船の起原、節分、初夢、宍子講をも說明せるものは、實に本書なり。挿圖五十餘種何れも得難き珍品にして、趣味湧くが如く、且つ平易流暢の口語體なれば、何人も之を繙く時は、恰も身、福神となり、寶船に乘載して、順風に、乘じ波靜かなる海上に乘り出し、長き夜のとをの眠の夢を結ぶ感あるべし。

口繪　寶船雅邦合作　寶船の玉章等現代名匠　古書の七福神の繪　數葉

文學博士　井上哲次郎氏序

文學士　東海林辰三郎氏著

一天下の奇書　好讀物出づ

西遊記水滸傳よりも面白き家庭の

（紙數四百九十八頁）

菊判洋裝本綴美　精巧圖畫多數入

正價壹圓參拾錢　郵稅拾貳錢

全壹册

新刊

支那仙人列傳

仙人は古來日本支那の小說繪畫に描かれ苟くも東洋の美術文學を解せんとするものの必ず研究すべき好題目なり。仙人は支那の神話的人物なり。神異幽幻なる物語を經とし清新なる詩趣を緯とし、變幻自在、鬼神出沒一讀魂を消し、再讀神を飛ばしむ。（文章流麗卷中に挿める數十葉の列仙の古畫像は各れも清逸）

歌書刊行會校

上等和紙印刷優美製本

和歌八代集

古今集二册　後撰集二册　拾遺集二册　後拾遺集二册　金葉詞花集二册　千載集二册　新古今集四册　（各集分賣）　井上博士校訂

完成　全拾六册

正價九圓九拾錢　小包稅貳拾四錢

歌仙家集

完成　全六册

正價參圓六拾錢　郵稅拾貳錢

本會顧問

文學博士子爵　萩野由之君

鎌田正夫君

醫學博士　井上通泰君

伯爵　柳原義光君

子爵　相良賴紹君

下田歌子女史

子爵　渡邊千秋君

子爵　大口鯛二君

柳田國男君

佐々木信綱君

醫學博士　賀古鶴所君

森林太郎君

近藤芳樹翁遺著　萬葉集註疏

中山美石翁遺著　後撰集新抄

藤井高尚翁遺著　古今集新釋

目下第二期事業トシテ御歌所寄人井上通泰博士監督ノ下ニを毎月貳册を刊行し既に十册を出したり是皆故人が心血を濺ぎて述作せられたる名著なれば斯道學者の益を得ること極めて多かるべし

刊行會は其完結を誓ふ

●刊行會趣意書規定及見本ハ往復はがきニテ申込マルレバ直ニ郵送ス

●發賣所

東京市本郷區龍岡町　電話下谷（一四〇七九　一六七二）

振替東京三〇五八番

聚精堂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

於英日博覽會

賜名譽大賞牌

最上醤油

大カギダイ

到る所の酒醤油店に販賣す

下總銚子港
釀造元　鶴屋吉兵衛

婦人画報

一月一日　正月巻・見よ本誌の新装

價金五錢　年一圓五十錢　稅二錢　前半年一圓廿五錢

讀物

眞の發展……井上哲次郎
新出版の書籍……澤柳政太郎
國土の膨脹と家庭の進歩……尾崎行雄
正月の遊び……巖谷小波

▼女學生と新年……文學士 大槻快尊
▼亥歳譚……文學士 瀨川克三
▼家串叢談……宮川すみ子
▼正月衛生……加藤照麿
▼年の初めと女の色々……西村富三
▼汁の加減

畫報

⊙水仙……滿谷畫伯筆美人 三色版
閑院宮御邸其他の門松
樂しき正月と令孃
松方侯の金婚式と御下賜品
鳩山家のかるた會
伏見宮妃殿下
馬上の江木博士夫人
十女王殿下御眞影
姫宮殿下の御歌留多
⊙新裝……榊原女史筆美人 二頁大石版畫

◉閨秀書家の書初め
◉貴婦人懇話會
◉勅題に因める束髮
◉東西樂界の名手
◉令女教會の貴婦人
◉當世假裝風俗
◉子供の遊び色々
◉十五名の令孃
◉九重の桐と伊藤氏
◉三令孃の彈き初め
◉婦人慰問會記念會
◉新裝の二夫人
◉新案玩具と生花
◉和歌式子の日遊び

讀物

新年と婦人……大隈伯、三宅博士、新渡戸博士、中川校長、跡見、三輪田二女史
様々な正月……坪井正五郎、文學士 源眞英
笑顔の研究
我家の新年……加納子爵、目賀田逸子、北里とら子、加藤眞佐子

▼皇后陛下御歌
▼髮長媛……遠山稻子
▼和歌初學……佐々木信綱
▼呉服物の買ひ方……農學士 今村猛雄
▼薪炭
▼變體假名
▼一月の趣味と教訓……岡山高蔭
▼初春の裝と正月惣菜

東京麹町區飯田町四の四　東京社　電話番町二三三九　振替一一八一三八

恭しく新年を賀しこゝに

金千五百圓の賞金を提供す

本年四月の大賣出しに用ゆべき廣告畫の圖案を懸賞募集す。圖案の様式は隨意とし、日本畫と油繪と水彩畫とを問はず、直に印刷に付し得る様充分なる彩色を施したるものにして美人を主題とし、其構圖、色彩、意匠すべて人目を惹き易きものを歡迎す。懸賞圖案の締切は二月廿日迄とし、當店に於て之を審査し、一等金千圓、二等以下五百圓（合計金千五百圓）の賞金を呈す。尙詳細は當店圖案部に問合されたし。

東京駿河町

三越呉服店

赤のれん 赤のれん

半えり店は御贈答適當品が澤山取揃て居り升

は流行の品や御似合物をお安く願ひ升

總本店東京神田小川町（電話本局二八五三番）です

營業種目　農産、林産、種子苗木類、果樹、苗及觀賞植物類、種禽、種卵及種畜類、農書、農具其他農家必要品

明治四十四年春季

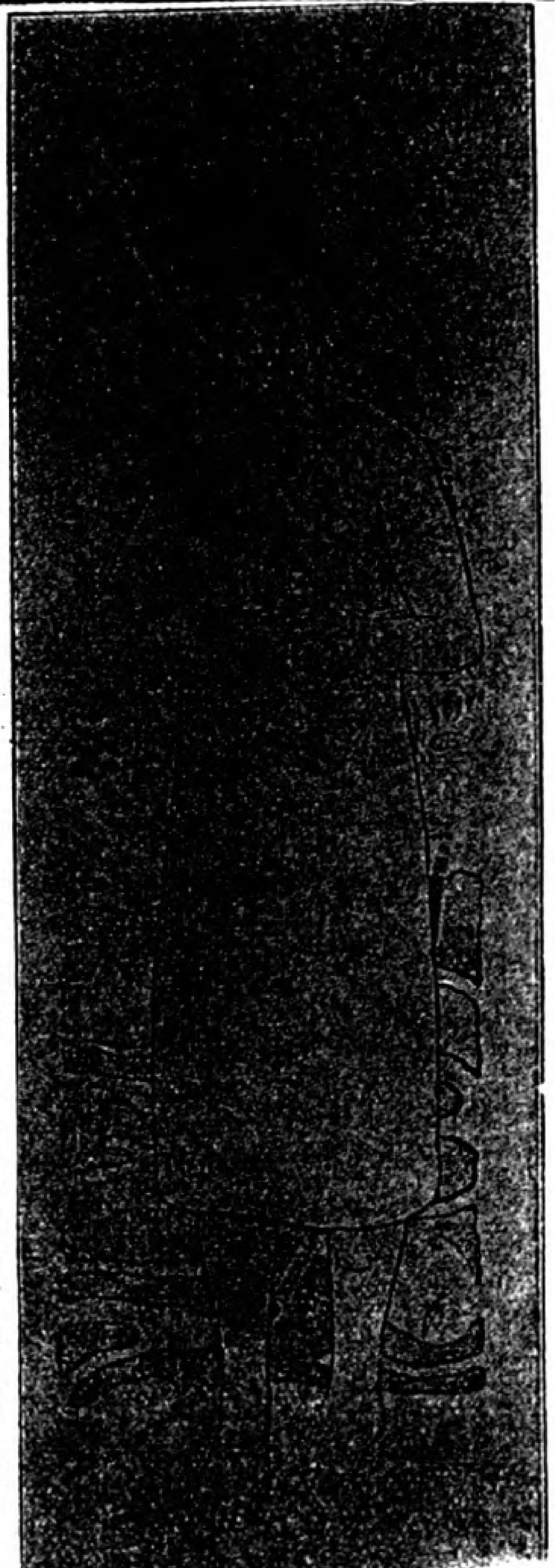
營業案内

右御入用の御方は御申込次第　無代進呈

資本金七拾萬圓　日本種苗株式會社

東京内藤新宿電車終點際

電話番町一八一六　振替東京三〇番



都こしまきは昨年發賣以來貴婦人方及花柳社界を始め一般世間の大好評を博しましたが今年は更にく改良を加へ最も實用に適し體裁も優美になりました

都こしまきは舶來上等毛絲にて丸く筒形に製したものでノビチヾミ自在でシックリと體につき輕くて暖かく體裁もよろしく一般御婦人用として殊に血の道子宮病腰冷え等御婦人病一切にはナクテナラヌ必要品であります「色合には白紅淡紅色の三種有ます」

定價＝壹號壹圓八拾錢　貳號壹圓五拾錢　參號壹圓貳拾五錢　四號九拾五錢

都シャツ｛壹號壹圓八拾錢　貳號壹圓五拾錢｝メリヤス｛壹號貳圓貳拾錢　貳號壹圓八拾錢｝ネマキ

市内ハ電話又ハ端書ニテ御注文次第早速御屆ケ致シ升市外郵送料八錢

注意＝近來僞物あり御買求の節櫻印都こしまきに御注意を乞ふ

都こしまき製造元

東京日本橋區濱町貳ノ拾四（改正道路）

西部商店

電話浪花三七四六番

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新年附録 日本名所 家族旅行雙六

婦人世界

正月一日發行 第六巻第壹號 一冊拾五錢 郵税一錢五厘 半年分郵税共一圓五錢 一年分同貳圓五

◎人情論……村井弦齋
▽（實用手輕な弦齋夫人料理談）本號には餅の料理
▽身に沁みて忘れ難き母の一言……（矢島、棚橋、跡見、三輪田、山脇各女史）
▽五十年前の私の花嫁姿……池田松子
▽未婚の男女は如何なる配偶を選ぶか……嘉悦孝子
▽正月の子供の遊びと食物の注意……加藤博士

常磐御前論
浮田博士　鳩山春子　箕作博士　吉田博士　安部磯雄　矢島楫子　三輪田元道　鈴木光愛　小林盈　杉浦重剛　宮田脩　西田敬止　其他

▽北白川宮より御降嫁ありたる有馬伯世嗣夫人の平生……一記者
▽おかめとお多福の先祖は誰かれ……武田豐四郎
▽米國から日本へ新婚旅行……森久保喜太郎
▽嫁入りの當時一番に困つた事……（丸山夫人、天野夫人、金子貞子）
（下田歌子女史每號本誌に執筆さる）
◎女學校卒業生は實際役に立たぬか……下田歌子

東京京橋南紺屋町十二番地 實業之日本社（振替貯金口座三三六二番）

金婚正宗の名譽

謹賀新年

●御進物用には至極好適

畏も東宮殿下御買上の榮を荷へり

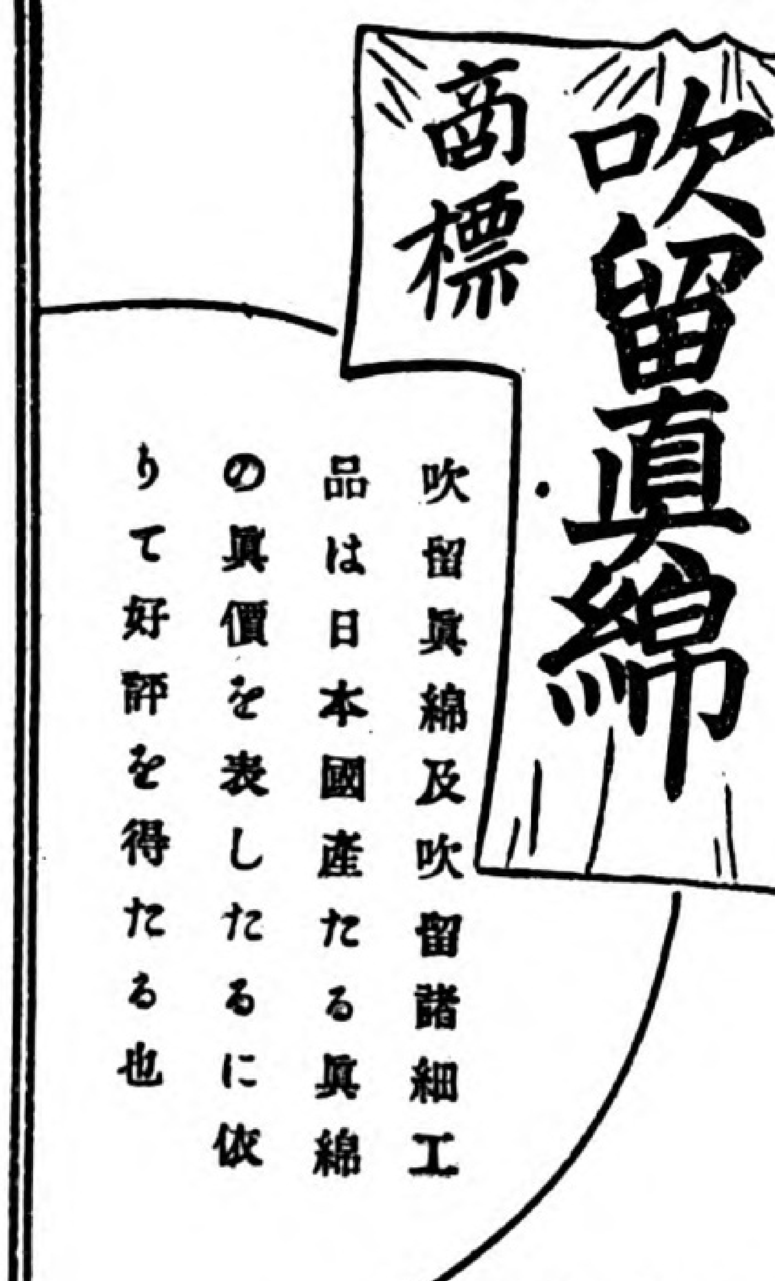
優等清酒金婚正宗の品質純良なるは既に定評あり而も價額尤も低廉也

●御常飲用には樽詰もあり

宴會用御瓶詰あり
瓶詰箱入
各洋酒問屋にあり

發賣元
神田美土代町二丁目角
豐島屋本店
電話本局 一七五四番 三八一一番

專賣特許
第七六七九號



謹賀新年

併而祝各位之萬歳
祈格別の御引立を

東京麻布新堀町
吹留眞綿製作所
賣捌店 京橋銀座四丁目 大和屋綿店

謹賀新年

出版業 洛陽堂
河本龜之助
東京市麴町區麴町二丁目二番地

長島鶯之助著

新編 衣服裁積算法

全一冊 定價金七拾錢 郵税金六錢

本書は織物の丈尺より始め衣服の名稱、圖解、種類、注意事項、裁方算法等を通俗的に一々野引圖を以て說明したれば斯道の心得あるものゝ參考は勿論全く初心者と雖も容易に會得練習する事を得べし。

●發行所 東京市神田區通新石町 口座東京壹壹九〇六番 東陽堂 電話本局九七〇番 ●

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

謹賀新年

愛國婦人廣告取扱

黑田隆一

電話番町一五二七四三〇

恭賀新正

愛國婦人會神奈川支部
事務員
愛國婦人通信員

深川浪穗

橫濱市西戸部町五百二十一番地

謹賀新年

愛國婦人廣告取扱店

(イロハ順)

東京市京橋區南紺屋町一
一星社

同　神田區三河町一ノ一九
博報堂

神戸市元居留地仲町
東洋廣告取次會社

東京市麹町區八重洲町一ノ一
東洋廣告取次會社支店

東京市京橋區南槇町七
大興社

同　神田區須田町
金蘭社

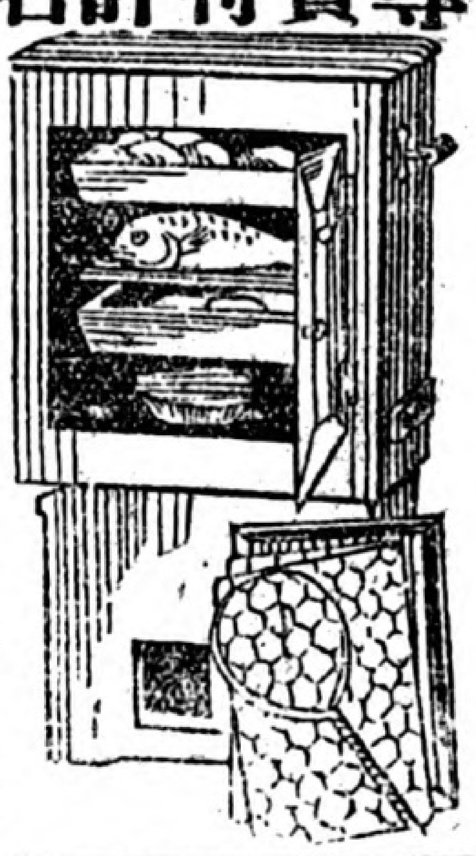
同　京橋區宗十郎町一七
正路喜社

意匠斬新

ハンカチーフ
首冠卷
長卷

東京市日本橋區葺屋町
中西儀兵衛
電話浪花七百番

專賣特許名和式テンピ



嘗つて婦人世界誌上に於て弦齋夫人の料理談中其の効用を稱せられたる和洋兼用テンピなり

大三圓中二圓五十錢小一圓九十錢

東京日本橋區蠣殻町二ノ十五
特許竈
携帶風呂
名和商店
電浪一一七七
振替口座一〇二五四
支店神田和泉橋通松永町十八

改良婦人もゝ引

色合　赤、白、桃色、鼠、定價　中長　九十五錢　大長　一圓五錢

昨冬非常の好評を辱せる本品は最精撰のネル地製にして腰卷を附隨しあれば御召工合のよき事は在來の婦人股引の比にあらず尚本年更らに改良を加へ股引と腰卷の取りはずしができ別々に洗濯する便宜あり婦人方冬の股引には全くこれが一等なり

ねびへしらず本舖

東京市日本橋區ふきや町(電浪二三四八番)
佃屋商店

▲また得がたき運勢獨り判斷▼

四條家藏版
▲石版五度刷美麗箱入ポケット用

改版
吉凶判斷
懐中おみくじ

價貳拾五錢　郵税二錢

東京神田美土代町二の一　博文書院
振替二〇四一六

運勢を知りて事を成すは成功の基なり此のおみくじは法華經を始め諸經の精神より成りたる神異奇妙の神籤にして心を淸め之に向へば鏡に物の映る如く運勢現はれ煩悶を除き前途の光明を與ふ

御扇子

愛國婦人會御用達

京都寺町五條下ル東側
御影堂
持阿彌

毎日午前八時ゟ午後九時迄院長診察

皮膚病
梅りん病
生殖器諸病
わきが
ぢ

東京淺草橋通瓦町廿八瓦町停留場横
中央醫院

婦人病ヒステリー症たむしにきび等
皮膚諸病
梅りんくどく諸病
渇消病
血の道
子宮病
月やく
とまりたる病
子なき婦人諸病

神經衰弱
記憶力減衰
陰萎夢精遺精
早漏陰萎
精育不充分
發

生殖器病

▲病狀を記し郵劵六錢を送れば其病を速治する專門醫中央醫院々長處方の特効新藥說明書を送る

東京淺草瓦町廿八
瓦町電車停留場横
中央藥院

両陛下御詠御勅題歌かるた

遊戲首魁
明治成功合セ　壹組
定價壹組壹圓　送料十二錢
定價十二錢　送料二錢

百人一首歌がるた壹組
定價特製壹圓八十錢一號一圓廿錢二號一圓三號八十錢四號五十錢送料各十二錢

泊來トランプ　壹組
壹等二圓二等一圓五十錢三等一圓卅錢四等一圓五等八十錢送料各八錢

東京日本橋區馬喰町三丁目廿番地
骨牌問屋
西村商店
振替口座一四五七五番

日本輸入品に限り包裝紙に斜に「アイボリー」石鹼と記入し一見模造惡質石鹼と判別に容易ならしむ御購求の節「アイボリー石鹼」に御注意を乞ふ

恭賀新年

尚本年も相變らず御愛顧御引立奉希上候

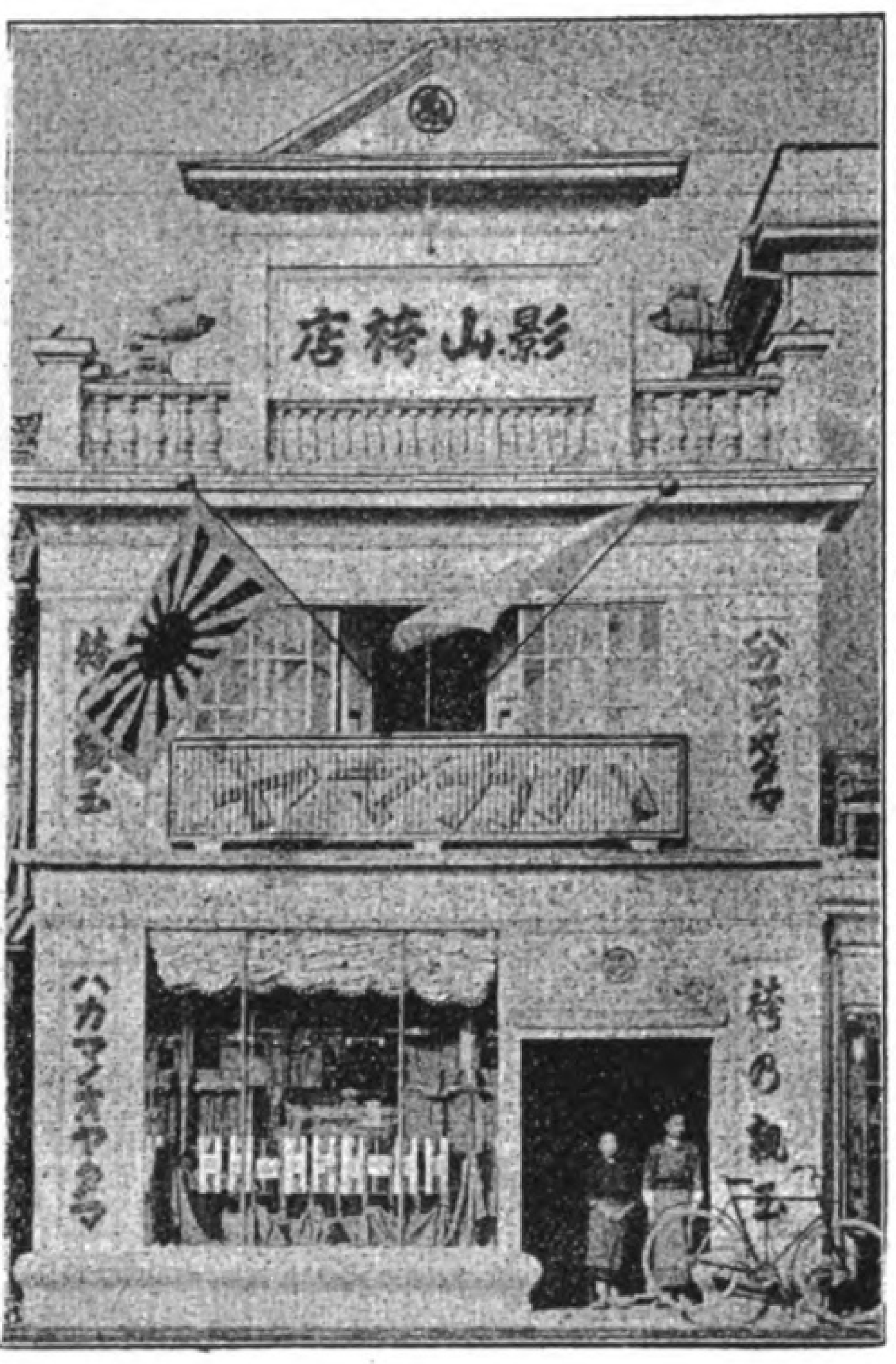
東京日本橋區堺町通ふきや町　電話浪花千二百七十番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

此たびめりんす専賣店を向ふ前へ開店仕り一層新柄撰み大勉強致し升

東京人形町通り
赤のれん
おばなや本店
電浪四三四五番
向ふ前
おばなや本店

謹賀新年



有名なる
ハカマヤ
精撰廉價
堅美懇切
裁縫巧妙
染色保證
東京神田小川町二
影山専門店
電話本局三八二六番

完全なる化粧をなさんと欲せば統一せる化粧品を御用ひあれ
アポロ化粧品は品質本位にして優秀なること斯界に冠たり

特約發賣店
三越呉服店　松屋呉服店
白木屋呉服店　白牡丹本舗
高島屋呉服店
東京市本郷區根津宮永町アポロ化粧品一手販賣　美津屋
其他全國信用有る化粧品小間物店に有り

發賣元　アポロ商會
東京市日本橋通り二丁目(電話長本三三〇番)

アポロかみのつやクリーム　金五拾錢
アポロかみのつやすみれ香油　金四拾錢
アポロ白金香水香油　金五拾五錢
アポロ黄金香水香油　金〃拾〃錢
アポロ白金香油　金[illegible]拾錢
アポロ黄金香油　金[illegible]拾錢
アポロ化粧水　金貳拾錢
アポロおしろい　金貳拾錢
アポロ化粧顔洗粉　金貳拾錢
アポロ上等髪洗粉　金貳拾錢
アポロ軟石鹸　金參拾錢
アポロ化粧クリーム　金貳拾五錢

謹賀新年

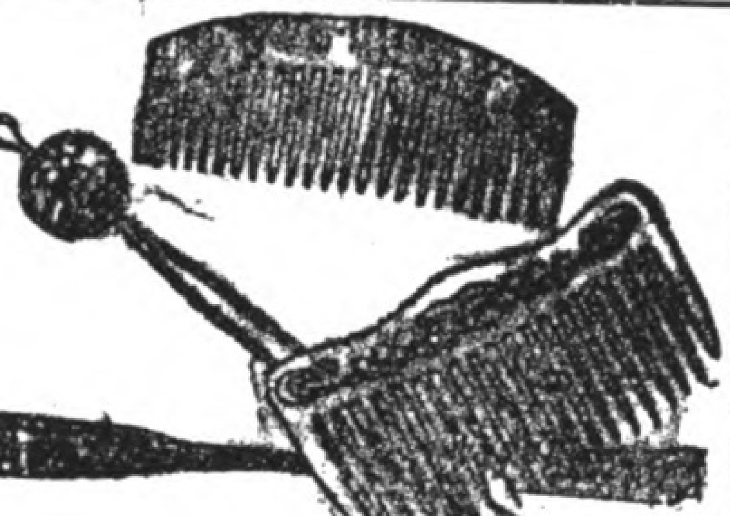
●東洋一製造大販賣 卸し小賣
◉夜具蒲團 綿類 ざぶとん
外濠線駿河臺下停留場前
神田表神保町二
矢田本店
電話本局二〇一八番
市内無賃配達

諸官省御用
(や)
●上下縱覽御隨意 珍柄高等品澤山有り
●綿質保險附●確實大勉強●正札引なし

羽織紐
東京日本橋
組糸一式
振替貯金
長電話

胃病良藥
太田胃散

格安土州珊瑚直取引市價よりは三割方廉價
御便利の爲御持古るしの小間物引取交換仕候
東京市神田須田町(電話本局二一〇七六番 振替一二八一二番)
鼈甲小間物商　三井屋徳次郎
京橋區新橋際　博品館内支店
神田裏神保町　東明館内支店



▲意匠斬新破格廉價札付
儀式用鼈甲　櫛　笄
象牙蒔絵　鉄　櫛　中差
金銀寶石入　簪　指輪
帯止　ピン
珊瑚珠翡翠　玉　簪
根掛　リボン
束髪三枚櫛

新年の御慶芽出度存上ます

リスリン入蜂蜜製
理化應用
和泉松石鹸

東京市京橋區新富町七丁目六番地
石鹸製造業
相馬帝國社

常ニ使用スレバ色ヲ美クシ肌ヲ滑ラカク光澤ヲ出ス本品ノ特色ハ使用ノ際永ク湯水ノ中ニアルカ又ハ紙ノ如ク薄クナルマデ使用スルモ溶ケ又崩レルコトナシ

謹而賀新年

京都市四條
熊谷呉服店
振替口座　大阪五五二七

世の多くの婦人は
子宮病の治療を誤て居ないか

一概に子宮病と云ても其種類は隨分多く從つて治療法も種々あるが、一般婦人の自宅治療を見るに甚だ勝手氣儘で服藥は厭だ洗滌は面倒だ、さし藥は困ると病源を考へ藥を適用せず、自己の都合より割出した藥物應用である、爲に內服藥の必用なる病狀に向て外用藥を用ひ、外用藥の必用は內服藥のみを用ゆる矛盾の治療をして、子宮病の不治を嘆く婦人の多きは誠に殘念である津村順天堂の自宅治療法は一藥萬能主義でなく一數種の加減內服藥と數種の外用藥を以て婦人病の根治を保證するのであるが今外用藥中將湯を使用すべき諸症を同病患者に告白す幸に自己の症狀を考慮して本劑を用ゆれば必ず滿足なる結果を得べし尙詳細を知らんと欲すれば詳しき容態を記して本舖津村順天堂へ申込れよ

●中將湯は婦人病一切の內服藥にて中將宮は子宮內膜炎とか白帶、赤帶、こしけ子宮痙攣、子宮加答兒、膣炎、膣加答兒子宮爛糜、子宮惡臭、子宮搔痒、尿意頻促、月經時の疼痛、黴毒性子宮病等の特効あり殊に良夫の黴疾に罹り居る時は黴毒菌の爲に心付かざる內に子宮を害する事多ければ常に中將球を使用して本病を豫防せられよ不姙性と流產、子宮內膜炎の分泌物及び酸性の粘液は精蟲を害し不姙症を起し子宮の炎症は卵の發育を妨げ姙娠するも流產となる事多ければ本劑を使用して病根を斷つ事肝要なり

定價百二十個五圓四十五個二圓二十個一圓九個五十錢三個二十錢本舖は東京日本橋通四丁目(振替口座一六八〇番)津村順天堂です●取次全國各藥店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人廣告取扱
神田三河町一ノ一九　博報堂
京橋區宗十郎町一七　正路喜社
愛國婦人海外廣告一手取扱
京橋區南槇町七　大興社
京橋區南紺屋町一　一星社
神戸市元居留地仲町三八　東洋廣告取次會社
神田須田町廿七　金蘭社
京橋區　廣告社

明治四十四年一月一日發行(毎月二回一日、十五日)(定價金三錢五厘一ヶ月金七錢郵税不要)發行兼印刷人山澤俊夫　發行所　東京麹町區飯田町　愛國婦人發行所　印刷所　東京市小石川區久堅町　博文館印刷所
本號ニ限リ明治四十三年十二月廿九日納本(廣告料一行金六拾錢)編輯人竹内貞　三番町●電話千七百四十五番●同五百二十番●振替貯金口座壹壹三八一番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附録 愛國婦人會記事

愛國婦人會地方職員各位
同　會員各位

新春の吉慶千里同風芽出度申納候、先以て各地職員及會員の君達には益々御健勝御加齢の段欣喜の至りに御座候、われ等一同亦無事新年を迎へ候まゝ御心やすう思召され度候、さて我愛國婦人會も本年三月を以て創立後滿十年に相成り、今や益々盛況に相趣き、同時に基礎も追々固を加へ、又諸種の事業も漸次整頓致し候、是れ全く　總裁閑院宮妃殿下の厚き思召を體して各位が能く其の實行に勉られたる結果に外ならずと存候、されど將來尚益々互に事情の疎通を圖り一致協力以て會務の發展に努め申度候、先は新年の御祝詞まで、めでたくかしこ。

明治四十四年一月一日

愛國婦人會

會長　子爵夫人　岡部坻子
副會長　伯爵夫人　阿部篤子
理事　公爵夫人　一條悅子
同　公爵夫人　大山捨松
同　公爵母堂　近衛貞子
同　公爵母堂　毛利安子
同　侯爵夫人　鍋島榮子
同　男爵夫人　濱尾作子
同　棚橋絢子
同　三輪田眞佐子
監事　伯爵夫人　伊東美津子
同　男爵夫人　三井苞子

本部記事

▲總裁宮殿下の沖繩支部總會御歸京　既報の如く本會總裁宮殿下には客臘十二月十二日午前九時五分新橋驛御發車沖繩支部第一回總會へ御台臨あらせられしが去月廿三日午後三時十七分新橋着にて無事御歸京遊ばされたり。（詳細は次號に載掲す）

▲評議員會　去月七日本部樓上に於て評議員會開催、岡部會長、阿部副會長、濱尾理事、棚橋理事、三輪田理事、及井伊常子、井伊増子、丹羽花子、新山雅樂子、戸田時子、大谷かち子、渡邊源子、龜井異洲子、高橋すゞ子、鍋島易子、山脇房子、柳谷千代子、古市幸子、仁杉歌子、陶邨子の各評議員出席、明治四十四年度歳出入豫算の件、及剩餘金を基本金に繰入の件に付て協議されたるが何れも原案通り可決せり。會議終りて後新年禮會の件及第十回總會準備の件に付て種々協議あり其の結果左の如く協定せられたり

一、明治四十四年新年禮會の件
- 一月十一日午後一時九段偕行社に於て開催の事
- 當日總裁殿下並名譽會員各殿下の台臨を仰ぐ事
- 本部職員並東京支部幹事以上集合
- 會費一圓宛

一、明治四十四年第十回總會準備委員の件
- 例に依り理事、評議員中より準備委員二十名を會長指名にて囑託し總會に關する一切の考案調査等を委任する事

◉明治四十四年度收支豫算

既載の如く明治四十四年度本會豫算は客臘十二月七日の評議員會に於て可決確定せられたるが、其内容は左の如し

●明治四拾四年度收入豫算書

一　金貳拾四萬千貳百圓　總收入高
　内譯
一　金拾九萬貳千圓　會費歩合收入
　但四十四年末會員八拾萬人ト見積リ終身會員特別會員通常會員ト不納會員ヲ通シ平均一人金六拾錢ト見込其百分ノ四十
一　金四萬八千貳百圓　雜收入
　但債券利子金參萬貳千九百拾圓預金利子金壹萬五千貳百圓徽章再渡代其他雜入金九拾圓ト見込
一　金千圓　貸與金戻入
　但東京、大阪、支部ヨリ年賦返納金

▲説明
一　四十三年度豫算ニ比スレハ會費ニ於テ滯納者増加スル見込ナレハ金貳萬千貳百圓ヲ減シ雜收入ニ於テハ預金增加セルモ金利下落ノ爲メ僅カニ金千百五拾圓ノ増加ニ止ル
二　寄附金及贊助金歩合ハ直チニ基本金へ組入ルヽモノトシ本豫算外トス

●明治四拾四年度支出豫算書

一　金八千五拾圓　事務費
　内譯
一　金五千貳百五拾圓　諸給
　内
　金千八百圓　部長二名報酬賞與共
　金貳千五百八十圓　事務員雇員七名分同斷
　金六百貳拾圓　給仕小使傭人四名分同斷
　金貳百五拾圓　退職者慰勞金
一　金四百八拾圓　旅費
　但支部會計檢査並ニ事務視察旅費
一　金八百九拾參圓　借地料
　但地代ノ内東京支部支辨家賃ヲ差引タル高
一　金百五拾五圓　辨當料
　但宿直夜業其他支部員等ノ辨當料
一　金參百參拾圓　郵便電信費
　但一ケ月平均金貳拾七圓五拾錢
一　金百貳拾圓　筆紙墨費
　但一ケ月平均金拾圓
一　金九拾圓　器具費
　但一ケ月平均金七圓五拾錢
一　金參百圓　營繕費
　但本棚百三十六間修繕ト小修繕
一　金百參拾圓　車代
　但一ケ月平均金拾圓ト見込
一　金參百圓　諸雜費
　但燈火焚炭其他ノ諸費一ケ月平均金貳拾五圓ノ割

本豫算中増減ヲ生スル時ハ諸給ト旅費ト並ニ辨當料以下各目互ニ流用支辨スルコトヲ得

▲説明
本年度豫算ヲ以テ前年度豫算ニ比スレハ諸給、旅費、辨當料、器具費、營繕費、諸雜費ニ於テ合セテ金七百八拾圓ヲ増加シタルモ廣告料ヲ廢シタルト郵便電信費

謹賀新年

愛國婦人會本部
馬屋原二郎
松井修德
三橋勝到
杉原全德

謹賀新年

愛國婦人會教養所
文學博士　幣原坦（洋行中）
大原武慶
一川清
森哲藏

謹賀新年

愛國婦人會
本部
并教養所
事務員一同

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

及車代トニ於テ合セテ金貳百六拾圓ヲ減シタレハ差引金五百貳拾圓ノ増加ニ止マル

一　金貳萬八千七百圓　事業費
内譯
一　金千貳百五拾圓　印刷費
内
金貳百貳拾五圓　協納狀參萬枚　拾枚金七錢五厘
金九拾圓　紅組交付書貳萬枚　拾枚金四錢五厘
金參百圓　第一種主旨書參萬部　拾部金拾錢
金參拾貳圓　第二種主旨書貳萬枚　拾枚金壹錢六厘
金七拾圓　賞狀謝狀用紙壹萬枚　拾枚金七錢
金參拾九圓　囑托用紙六千枚　拾枚金六錢五厘
金貳百六拾圓　贈與用紙四萬枚　拾枚金六錢五厘
金貳百參拾四圓　臨時印刷物代
一　金參千百八拾圓　徽章製作費
内
金參百圓　特別會員章參千個　壹個金拾錢
金貳千貳百五拾圓　通常會員章貳萬五千個　壹個金九錢
金參百六拾圓　有功章千貳百個　平均壹個金參拾錢
金貳百七拾圓　紅組壹萬五千個　壹個金壹錢八厘
一　金七千五百圓　總會費
但第十回總會ノ諸費
一　金四千五百圓　支部總會臨場費
但各支部總會ニ際シ總裁殿下御台臨及職員出張諸費
一　金貳千圓　擴張費
但機關新聞補助其他擴張ニ關スル諸費
諸費
一　金千貳百圓　接待費
但會務ニ關シ接待上ニ要スル諸費
一　金五千五百圓　慰勞贈與費
但會務ニ特別功勞アルモノ及其他へ金品贈與ニ充ツ
一　金四百八拾圓　運送費
但徽章印刷物等運送諸費
一　金百五拾圓　雜費
但事業上ニ要スル諸雜費
一　金貳千九百四拾圓　豫備費
但臨時ニ生シタル特別ノ費用ニ充ツ

本豫算中各科目ニ於テ増減ヲ生スルトキハ互ニ流用支辨スルコトヲ得

▲說明

本年度豫算ヲ以テ前年度豫算ニ比スレハ各科目ニ於テ増減アルモ差引金貳千七百圓ノ減額トナル

一　金拾貳萬五千貳百五拾圓　救護費
内譯
金八萬圓　定期救護金
但前年ノ通各支部へ配當ノ分
金貳千五百圓　臨時救護金
但水火災其他罹災兵及軍人遺族へ贈與ノ分
一　金壹萬圓　特別救護金
但本年中支部總會へ御台臨ノ際廢兵並ニ軍人遺族へ下賜金ニ充ツ
一　金壹萬六千五百圓　教養所費
但本豫算ノ細別ハ別冊ノ通リ
一　金壹萬六千貳百五拾圓　豫備金
但臺灣支部へノ補助金其他臨時ノ事業補助等ニ充ツ

本豫算中増減ヲ生スル時ハ互ニ流用支辨スルコトヲ得

▲說明

本年度豫算ヲ以テ前年度豫算ニ比スレハ金四千貳百四拾圓ノ減額トナル

●總計金拾六萬貳千圓

●明治四十四年度教養所支出豫算書

一　金四千四百拾五圓　事務費
内譯
一　金參千參百五拾貳圓　諸給
内
金五百圓　寮長報酬
金百圓　寮醫同
金百五拾圓　擊劍師同
金千四百七拾六圓　寮監副寮監會計主任事務員計四名俸給
金貳百四拾圓　算術教員手當
金貳百四拾圓　雇婦人二名給料
金貳百八拾六圓　寮監以下三名及小使賞與金
金參百六拾圓　小使二人常備一人及臨時使用人夫賃共
一　金百貳拾圓　備品費
但備付器具修理補填一ヶ月金拾圓
一　金九拾六圓　消耗品費
但用紙及其他雜品代一ヶ月金八圓
一　金貳拾四圓　通信運搬費
但郵便電信料及運送費一ヶ月平均金貳圓
一　金百八拾圓　營繕費
内
金六拾圓　火災保險料
金百貳拾圓　建物修繕一ヶ月平均金拾圓
一　金五百七拾壹圓　借地料
但借地參百拾七坪壹ヶ年分
一　金貳拾四圓　車代
但一ヶ月平均金貳圓
一　金四拾八圓　雜費
但煙突掃除料其他雜品代
一　金貳百貳拾八圓　入校生徒費
内譯
一　金百九拾貳圓　納附金
但陸軍中央幼年學校生徒二名ノ納金一名一ヶ月金八圓
一　金參拾六圓　手當
但同校生徒二名毎月小遣金壹圓五拾錢
一　金貳千參百貳拾圓　教育費
内譯
一　金千五百六拾貳圓　授業料
但中學程度延人員四百九拾參人一人一ヶ月金參圓小學校生徒延人員四百十七人一人一ヶ月金貳拾錢
一　金四百拾圓　圖書費
但教科書中學程度五拾人一人金七圓小學生徒四拾八人一人金八拾錢及參考書籍代金貳拾貳圓
一　金參百五拾參圓　筆紙墨文具
但筆紙墨其他雜品代一人一ヶ年平均金參圓六拾錢
一　千九百八拾七圓　被服費
内譯
一　金千九百貳拾七圓　被服
内
金千八百七圓　被服新調給與規則ニ依リ算出ス
金百貳拾圓　被服品修理洗濯費一ヶ月平均金拾圓
一　金參拾六圓　寢具
但修理洗濯一ヶ月平均參圓
一　金貳拾四圓　裝具
但雜囊其他物品修理一ヶ月平均金貳圓
一　金五千百參拾參圓　賄費
内譯
一　金貳千四百四拾四圓　米穀代
内
金千七百七拾貳圓　米代六十一人三百六十五日三十七人二百八十五日一人一日三合此石數九十八石四斗三升一石金拾八圓
金六百五拾六圓　挽割麥同斷一人一日二合石數六十五石六斗二升壹石金拾圓
金拾六圓　赤飯用小豆九斗一石金拾八圓
一　金貳千六百八拾九圓　賄料
内
金貳千四百六拾壹圓　菜代六十一人三百六十五日三十七人二百八十五日一人一日金七錢五厘
金百貳拾八圓　同食一ヶ月三回延食數三千百九十五日一食金四錢
金四拾圓　大祭日祝日増菜代
金六拾圓　水料一ヶ年分
一　金八百六圓　病傷費
内譯
一　金參百圓　入院料
但入院患者延日數貳百日一日金壹圓五拾錢
一　金四百拾圓　藥餌費
内
金參百六拾五圓　患者一日平均四人延人員千四百六十人一人金貳拾五錢
金四拾五圓　滋養品代延人員三百人一人金拾五錢
一　金九拾六圓　雜費
但入院患者運送賃及電車賃平均一ヶ月八圓
一　金千貳百六圓　諸雜費
内譯
一　金貳百貳拾圓　體育費
内
金百貳拾圓　擊劍用具及竹刀修理一ヶ月平均金拾圓
金百圓　夏期間游泳費
一　金九百八拾六圓　雜費
内
金百七圓　寮生外遊費一名一ヶ月金拾錢延人員千六十五人
金四拾八圓　通信用郵便料一人金四錢五厘
金百貳拾五圓　中學生修學旅行諸費五十人一人金貳圓五拾錢
金五拾參圓　理髮料延人員千六十五人一人金五錢
金貳拾壹圓　手拭三百五十筋代一筋金六錢
金七拾貳圓　麻裏草履六百足一足金拾貳錢
金參拾貳圓　寫眞六十四人分一組金五拾錢
金貳百八拾八圓　電燈料一ヶ月平均金貳拾四圓
金六拾圓　防寒用木炭百二十俵一俵金五拾錢
金百八拾圓　諸雜品代一ヶ月平均金拾五圓
一　金四百圓　豫備金

●合計金壹萬六千五百圓

▲有功章其他贈與

福島支部伊達郡幹事部長　馬場きち子
同　支部評議員　山上卿子

功績に依り一等有功章贈與

福島支部　評議員　湊美江子
同　荒川梅子
北會津郡幹事部長　金指とわ子

功績に依り二等有功章贈與

福島支部　副長　今野やそ子
西白河郡幹事部長　神子たきよ子
福島市　幹事　丹治もと子
同　田村かね子
同　畠山龜乃子
同　加藤さき子
相談役　青木金治
同　内池三十郎
西白河郡幹事部顧問　神子伴助

功績に依り三等有功章贈與（以上十二月九日）

熊本支部阿蘇郡幹事部幹事　山村百代子
同　特別會員　山村ゆい子

功績に依り三等有功章贈與

婦女鑑一冊　扇子一本　熊本支部阿蘇郡幹事部　下村せつ子
同　同　甲斐まつ子
婦女鑑一冊　同　津留つや子
同　同　藤野ひさ子
同　同　吉良よし子
同　同　田上じゆ子
同　同　幹事　長野よし子
同　同　佐藤さじ子
同　同　長野たけ子
同　同　齋原さゑ子
同　同　野田かずを子
同　同　下田もき子
同　幹事　赤星きぬ子
同　同　相良ゆき子
同　同　國武いと子
同　同　古庄かつ子
同　同　三城うゑ子
同　同　筑紫かじゆ子
木杯一組　同　山村義一
同　同　馬原大心
同　同　倉岡福太郎
同　同　佐藤勝之
同　同　高月正
同　同　古庄親男
同　同　塚本重雄
同　同　宮川經太
同　同　藤家芳照
木杯一個　同　今村正直
同　同　荒木元房
同　同　坂井茂一郎
同　同　甲斐次通

右功勞に依り特別謝狀及頭書の通贈與（以上十二月十二日）

岩手支部西磐井郡幹事部委員　佐々木彌惣太
同　幹事　佐々木よね子
同　同　佐藤たねゑ子
同　同　阿部てふ子
同　同　菊池きの子

右各金五十圓寄附に依り三等有功章贈與

岩手支部西磐井郡幹事部事務員　栗原文和

右功績に依り三等有功章贈與

金廿五圓　岩手支部西磐井郡幹事部　木村仁太郎
同　同　佐藤ちとせ子
金十三圓　同　泉たけ子
金十圓　同　富永昌
同　同　山口良之進
同　同　山田みよ子
金七圓　同　小野寺みゑ子

右岩手支部西磐井郡幹部事第一回總會に付頭書の通り寄附に依り夫々謝狀贈與

謹賀新年
愛國婦人會東京支部長　阿部龍子
同　副長　昌谷楨子
同　副長　濱野なを子

謹賀新年
愛國婦人會東京支部
後藤隆
事務員一同

愛國婦人第二百十六號附錄　發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　竹內貞三　發行所　東京麴町區飯田町　愛國婦人發行所　印刷所　東京市小石川區久堅町　博文館印刷所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN